

## 研究業績：診療局 内科

### 《内分泌代謝内科》

#### (1) 原著、総説、著書

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	特集 糖尿病医療連携: 本当に必要なものは何か 泉州圏域における糖尿病地域連携パスの取り組み	李 英子 設楽 香織 岡本圭司 山田正一 大野 昭	糖尿病診療マスター 2013年9月号 (通常号)	Vol.11 No.6		2013
2	医師事務作業補助者のキャリアパス 視点 4 糖尿病診療における医師事務作業補助者の 功績～医師として事務職員に求めるミッション～	大野 昭	医事業務 2013年5月15日号			2013

#### (2) 学会発表

番号整理	演題	発表者	学会・研究会名	年月日
1	膵小細胞癌の混合型せん妄に対し、抑肝散 単剤で改善を認めた一例	清水勇雄 倉敷有紀子 大野 昭	第26回サイコオンコロジー学会総 会	2013.9.20-21
2	Bell 麻痺のステロイド治療後一過性に副腎機 能低下し低血糖が遷延した2型糖尿病の一例	倉敷有紀子 清水勇雄 中原 啓 裕田猛真 森下寿々枝 大野 昭	第50回日本糖尿病学会近畿地方 会	2013.11.23
3	慢性甲状腺炎と1型糖尿病を合併し GAD 抗 体著明高値を呈した多腺性自己免疫症候群 の一例	清水勇雄 倉敷有紀子 森下寿々枝 大野 昭	第50回日本糖尿病学会近畿地方 会	2013.11.23
4	筋無力症クリーゼからの混合型せん妄に対 し、抑肝散単剤で改善を認めた症例	清水勇雄 倉敷有紀子 大野 昭	第26回日本総合病院精神医学会	2013.11.29-30
5	重症筋無力症を背景に持つ錐体外路症状の 治療に難渋した一症例	清水勇雄	第26回日本総合病院精神科学会	2013.11.29-30

#### (3) 学術講演

番号整理	演題	発表者	発表場所及び対象	年月日
1	糖尿病疾病管理の重要性と医師事務作業補 助者への期待	大野 昭	日本医師事務作業補助研究会配 置管理者セミナーin 大阪	2013.2.2
2	「糖尿病の最新治療」講演④糖尿病の地域連 携	大野 昭	日本医師会 生涯教育協力講座セ ミナー	2013.10.5
3	パネルディスカッション 糖尿病診療における地域連携・病診連携	絵本正憲 小杉圭右 大野 昭 福田正博	日本医師会 生涯教育協力講座セ ミナー	2013.10.5

## 《膠原病内科》

### (1) 学会研究会報告

番号	整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1		アレルギー・膠原病 座長	入交重雄	第202回日本内科学会近畿地方会	2013.12.14
2		頸部痛を主訴に来院した潰瘍性大腸炎に伴う脊椎関節炎の1例	山田 豊 入交重雄 倭 正也	第202回日本内科学会近畿地方会	2013.12.14
3		メトトレキサート(MTX)、セルトリズマブ投与中にニューモシスチス肺炎(PCP)を合併した関節リウマチの一例	寺村崇哉 入交重雄 山田 豊 倭 正也 柿本綱之 大野 昭 玉置俊治	第202回日本内科学会近畿地方会	2013.12.14
4		再発性多発軟骨炎3症例の検討	入交重雄	第57回日本リウマチ学会学術総会	2013.4.18-20
5		USMLE(米国医師国家試験):日本人医師受験のために	入交重雄	第16回日本医学英語教育学会学術集会	2013.7.20-21
6		海外・国内の保健医療・公衆衛生 座長	入交重雄	第27回びわ湖国際医療フォーラム	2013.7.7
7		外国人患者受入れ医療機関認証制度(JMIP)を受審して	木村ガーリー 吉田智美 木内薫代 新垣智子 入交重雄 南谷かおり	第27回びわ湖国際医療フォーラム	2013.7.7
8		外国の人たちにも優しい日本の医療サービスを!!外国人患者受入れ医療機関認証制度(JMIP)認証病院 りんくう総合医療センターからの報告	入交重雄	第52回全国自治体病院学会	2013.10.17
9		ABATACEPT TREATMENT SUPPRESSES T CELL ACTIVATION IN ANTI-CYCLIC CITRULLINATED PEPTIDE ANTIBODY (ACPA) POSITIVE RA PATIENTS BUT NOT IN ACPA NEGATIVE RA PATIENTS	T. Matsutani, M. Murakami, M. Sekiguchi, K. Matsui, M. Kitano, M. Namiki, K. Ohmura, Y. Imura, T. Fujii, T. Kuroiwa, H. Nakahara, S. Hika, K. Maeda, Y. Nozaki, M. Funauchi, K. Murakami, T. Ikawa, S. Irimajiri, A. Nampei, T. Azuma, T. Sasaki, A. Yokota, S. Morita, Y. Kawahito, T. Mimori, H. Sano, N. Nishimoto.	15 <sup>th</sup> Annual European Congress of Rheumatology, Spain	2013.6.12-15

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
10	Changes in Cytokine Profiles in Rheumatoid Arthritis Patients During Abatacept Treatment	M. Murakami, T. Matsutani, M. Sekiguchi, K. Matsui, M. Kitano, M. Namiki, K. Ohmura, Y. Imura, T. Fujii, T. Kuroiwa, H. Nakahara, S. Higa, K. Maeda, Y. Nozaki, M. Funauchi, K. Murakami, T. Ikawa, S. Irimajiri, A. Nampei, T. Azuma, T. Sasaki, A. Yokota, S. Morita, Y. Kawahito, T. Mimori, H. Sano, N. Nishimoto	15 <sup>th</sup> Annual European Congress of Rheumatology, Spapin	2013.6.12-15

(2) 院内研究活動

番号整理	演 題	発 表 者	年 月 日
1	市民健康講座 「関節リウマチ」内科と整形外科の観点から	入交重雄 小瀬弘樹	2013.5.18
2	第158回臨床集談会 ベーチェット病	入交重雄	2013.7.25

研究業績：診療局 総合内科・感染症内科

(1) 原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	Atypical hemolytic uremic syndrome with <i>MCP</i> mutations preceded by respiratory infection	Keiko Yasuda, Koichi Sasaki, Masaya Yamato, Hiromi Rakugi, Yoshitaka Isaka, Terumasa Hayashi, Rossella Piras, Elena Bresin	CEN Case Rep.2013	2(1)	34-37	2013
2	Rhabdomyolysis caused by peripheral T-cell lymphoma in skeletal muscle	Koichi Sasaki, Masaya Yamato, Keiko Yasuda, Hiromi Rakugi, Yoshitaka Isaka	American Journal of Emergency Medicine. 2013	31	1537.e3-1537.e5	2013

(2) 学会研究会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1	Anti- $\beta$ 1-adrenergic receptor autoantibody is an independent predictor of all-cause mortality in dialysis patients	Masaya Yamato, Hiromi Rakugi, Yoshitaka Isaka	ISN World Congress of Nephrology 2013 (Hong Kong)	2013.6.1

番号 整理	演 題	発 表 者	学 会・研究会名	年 月 日
2	シンポジウム3 血液浄化で臓器障害スパイラルを止められるか 敗血症性ショックにおける長時間連続PMX-DHPは生存率改善に有効である	倭 正也	第24回日本急性血液浄化学会学術集会(札幌)	2013.9.14
3	頸部痛を主訴に来院した潰瘍性大腸炎に伴う脊椎関節炎の1例	山田 豊 入交重雄 倭 正也	日本内科学会近畿地方会	2013.12.14
4	メトレキサート(MTX)、セルトリズマブ投与中にニューモシスチス肺炎(PCP)を合併した関節リウマチの1例	寺村崇哉 入交重雄 山田 豊 倭 正也 柿本綱之 大野 昭 玉置俊治	日本内科学会近畿地方会	2013.12.14
5	Efficacy of continuous long-duration PMX-DHP for septic shock; propensity score analyses	Masaya Yamato, Hiromi Rakugi, Yoshitaka Isaka	SCCM 2014 43th Critical Care Congress (San Francisco)	2014.1.11
6	シンポジウム ガイドラインを超えて～Beyond the theory～ 長時間連続PMX-DHP療法はAKI合併敗血症性ショック症例において有効である	倭 正也	第18回エンドトキシン血症救命治療研究会(東京)	2014.1.18
7	敗血症性ショックにおける長時間連続PMX-DHPの有効性	倭 正也	第41回日本集中治療医学会学術集会(京都)	2014.2.27
8	ST合剤とセフトラジムの併用療法によって治療した再発性 S.maltophilia 肺炎の1例	関 雅之 山田 豊 倭 正也 後藤隆純 山本淳平 北林克清 松江 一	日本内科学会近畿地方会	2014.3.1

### (3) 学術講演

番号 整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1	腎臓内科医から診た高血圧治療について	倭 正也	日本ベーリンガーインゲルハイム社内勉強会	2013.6.12
2	「経口抗菌薬の使い方」	山田 豊	泉佐野・泉南薬剤師会第161回合同勉強会	2013.6.13
3	CKD患者におけるβ遮断薬の使い方	倭 正也	田辺三菱製薬勉強会	2013.6.14
4	腎臓からみた高血圧治療について	倭 正也	武田薬品レクチャーミーティング	2013.12.13
5	CKDにおけるリン・食事・鉄の管理について	倭 正也	鳥居薬品社内勉強会	2014.2.4

### (4) 院内研究活動

番号 整理	演 題	発 表 者	年 月 日
1	りんくうカンファレンス β遮断薬を使用したCKD患者の3例	倭 正也	2013.7.18
2	りんくうカンファレンス β遮断薬使用における新しい知見について	倭 正也	2013.7.18
3	りんくう総合医療センター市民健康講座 「血圧の知識を深めよう!」～この血圧で大丈夫?～	倭 正也	2013.9.21
4	第161回臨床集談会 腸内細菌の薬剤耐性をめぐる動き	山田 豊	2013.10.24
5	第162回臨床集談会 高血圧について	倭 正也	2013.11.28
6	りんくう総合医療センター市民健康講座 敗血症という病気を知っていますか?	倭 正也	2014.3.15

### (5) 院内勉強会 (看護師、臨床工学士向け)

番号 整理	演 題	発 表 者	年 月 日
1	Sepsis勉強会①敗血症とは何か	倭 正也	2013.11.14
2	Sepsis勉強会②感染臓器、フォーカス	倭 正也	2013.12.12
3	Sepsis勉強会③敗血症性ショックにおける初期蘇生と循環作動薬	倭 正也	2014.1.9
4	Sepsis勉強会④DIC、重症度判定	倭 正也	2014.2.13



## 研究業績：診療局 血液内科

### (1) 原著、総説、著書

番号	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	Maintenance of complete remission after allogeneic stem cell transplantation in leukemia patients treated with Wilms tumor 1 peptide vaccine.	Maeda T, Hosen N, Fukushima K, Tsuboi A, Morimoto S, Matsui T, Sata H, Fujita J, Hasegawa K, Nishida S, Nakata J, Nakae Y, Takashima S, Nakajima H, Fujiki F, Sugiyama H, Tatsumi N, Kondo T, Hino M, Oji Y, Oka Y, Kanakura Y, Kumanogoh A.	Blood Cancer J	3	e130	2013
2	Complementary regulation of early B-lymphoid differentiation by genetic and epigenetic mechanisms.	Yokota T, Sudo T, Ishibashi T, Doi Y, Ichii M, Orirani K, Kanakura Y.	Int J Hematol	98	382	2013
3	Canonical HSC markers and recent achievements.	Sudo T, Yokota T, Ishibashi T, Ichii M, Doi Y, Oritani K, Kanakura Y.	Stem Cell Biology in Normal Life and Diseases (Kamran Alimoghaddam edit.), INTECH, Rijeka, Croatia,	chapter4	51	2013
4	Successful treatment with rituximab for angioimmunoblastic T-cell lymphoma.	Kasahara H, Kakimoto T, Saito H, Akuta K, Yamamoto K, Ujiie H, Sugahara H, Hoshida Y, Sakoda H.	Leuk Res Rep.	May 1; 2(1)	36	2013
5	Central diabetes insipidus in an HHV6 encephalitis patient with a posterior pituitary lesion that developed after tandem cord blood transplantation.	Kawamoto S, Hatanaka K, Imakita M, Tamaki T.	Intern Med	52(10)	1107	2013

(2) 学会研究会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1	R-CHOP療法を安全に完遂しえた先天性QT延長症候群合併DLBCLの1例	渡辺 楓 草壁信輔 藤田二郎 福島健太郎 前田哲生 田所誠司 織谷健司 金倉 譲	第100回近畿血液学地方会	2013.11.30
2	発作性夜間ヘモグロビン尿症合併大腸癌患者のエクリズマブ投与による周術期管理	栗原智樹 数藤孝雄 福島健太郎 西村純一 江副幸子 藤田二郎 前田哲生 田所誠司 柴山浩彦 織谷健司 金倉 譲	第100回近畿血液学地方会	2013.11.30
3	2回の造血幹細胞移植から15年後に腎髄外病変として遅発性再発したMLL/AF4陽性の急性リンパ性白血病の1例	草壁信輔 前田哲生 高橋雅文 数藤孝雄 松井敬子 佐多 弘 中澤剛士 藤田二郎 福島健太郎 織谷健司 石川 淳 金倉 譲	第36回日本造血細胞移植学会	2014.3.8
4	rATG(thymoglobulin)の同種造血幹細胞移植におけるウイルス性出血性膀胱炎に対する影響	佐多 弘 前田哲生 草壁伸輔 高橋雅文 数藤孝雄 松井敬子 中澤剛士 藤田二郎 福島健太郎 織谷健司 金倉 譲	第36回日本造血細胞移植学会	2014.3.8
5	高齢男性に発症した乳腺原発悪性リンパ腫の1例	藤川恵理 柿本綱之 太田隆代 玉置俊治	第203回日本内科学会近畿地方会	2014.3.1
6	抗P特異性を持つIgM型Donath-Landsteiner試験陽性自己抗体による溶血性貧血の一例	萩原浩平 柿本綱之 玉置俊治	第99回近畿血液学地方会	2013.6.22
7	CD4陰性芽球形質細胞様樹状細胞腫瘍の一例	関 雅之 柿本綱之 玉置俊治	第99回近畿血液学地方会	2013.6.22

研究業績：診療局 肺腫瘍内科

(1) 原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	A Phase I / II Trial of Irinotecan Plus Amurubicin Supported with G-CSF for Extended Small-cell lung Cancer	T. Harada, A. Hamada, A. Moriyama, K. Nakagawa, Y. Nakanishi, et al.	Japanese Journal of Clinical Oncology	Vol.44(2)	127-133	2014.2

研究業績：診療局 神経内科

(1) 原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	無症候性の特発性両側性大脳基底核・小脳歯状核石灰化症	宗田高徳	内科	111巻 2号	370	2013
2	テンシロン試験で偽陽性を示した眼瞼攣縮の1例	宗田高徳	大阪医学 The Journal of The Osaka Medical Association	Vol.45(1) 2013		2013

(2) 学会研究会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1	特別講演Ⅱ (座長)	宗田高徳	第7回りんくうブレインセミナー 泉佐野(大阪)	2013.6.29

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
2	二か国語使用者の交叉性失語についての検討	宗田高穂 福永貴典 出原 誠 萩原 靖 森内秀祐	第39回日本脳卒中学会総会 (大阪)	2014.3.14

(3) 講演

番号整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1	南大阪神経カンファレンス (座長)	宗田高穂	第49回南大阪神経カンファレンス	2013.7.18
2	若年者の脳梗塞と脳梗塞に類似した症状の疾患	宗田高穂	第166回臨床集談会	2014.3.27

**研究業績：診療局 循環器内科**

(1) 学会研究会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1	ポスターセッション (コメンテーター)	武田吉弘	近畿心血管ジョイントライブ 2013	2013.4.19
2	Complex Staged Intervention Theater (座長)	武田吉弘	近畿心血管ジョイントライブ 2013	2013.4.20
3	左主幹部にロータブレーター施行後、血管穿孔を来した一例	村木良輔 武田吉弘	近畿心血管ジョイントライブ 2013	2013.4.20
4	大動脈解離に合併した 左主幹部梗塞の一例	大野壮史 武田吉弘	近畿心血管ジョイントライブ 2013	2013.4.20
5	側壁心筋梗塞後に認めた左心室瘤の一例	武田吉弘	第13回 Complex PCI Circle 勉強会	2013.4.27
6	一般講演後半 (コメンテーター)	武田吉弘	第13回 Complex PCI Circle 勉強会	2013.4.27
7	VTを発症し、CRTD植え込みおよびアブレーションを施行したが、再発を繰り返したDCMの1例	堂上友紀 武田吉弘 藤原敬太 大野壮史 馬庭直樹 竹中淑夏 村木良輔 永井義幸	第6回南大阪不整脈研究会	2013.6.8
8	慢性維持透析中に胸背部痛とショックで発症した閉塞性肥大型心筋症の1例	竹中淑夏 大野壮史 馬庭直樹 村木良輔 堂上友紀 武田吉弘 永井義幸	第115回日本循環器学会 近畿地方会	2013.6.15
9	冠動脈ステント留置後のNeoatherosclerosisの臨床的特徴:超慢性期IVUS所見から得られた洞察	武田吉弘	第22回日本心血管インターベンション治療学会学術集会	2013.7.11
10	LMT1 (座長)	武田吉弘	第22回日本心血管インターベンション治療学会学術集会	2013.7.11
11	ワイヤクロスに難渋した若年患者のCTOの1例	武田吉弘	The 3rd CTO Hands-on Workshop National Meeting "Next-generation Physician Case Competition"	2013.7.12
12	ライブオペレーター、 ワークショップ講師	Yoshihiro Takeda	The Ice City International Cardiovascular Conference 2013	2013.7.27
13	In-stent neoatherosclerosis of hemodialysis patients treated with drug-eluting and bare-metal stents: very late-phase observation by IVUS	Yoshihiro Takeda, Soushi Ohno, Yoshika Takenaka, Naoki Maniwa, Ryousuke Muraki, Tomoki Dohue	ESC Congress 2013	2013.9.2
14	In-stent neoatherosclerosis after implantation of drug-eluting and bare-metal stents: very late-phase observation by IVUS	Yoshihiro Takeda, Soushi Ohno, Yoshika Takenaka, Naoki Maniwa, Ryousuke Muraki, Tomoki Dohue	ESC Congress 2013	2013.9.3
15	Case Presentation 「My best & worst case」 (コメンテーター)	武田吉弘	SAPPORO LIVE DEMONSTRATION COURSE 2013	2013.9.6

番号 整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
16	LAD 高度石灰化病変に対して、Rotablationを施行し slow flow をきたした症例	堂上友紀	第2回京滋奈良カテラボカンファレンス	2013.9.14
17	透析患者におけるカテーテル治療戦略	武田吉弘	第61回日本心臓病学会 学術集会	2013.9.20
18	逆行性アプローチを試み、チャンネル穿孔を来した一例	武田吉弘	Bay area Complex PCI & Imaging Conference 2013	2013.10.5
19	右冠動脈起始異常部に瘤形成を合併し、切迫破裂にて緊急手術を行い救命し得た1例	馬庭直樹 武田吉弘 藤原敬太 大野壮史 村木良輔 堂上友紀	第21回日本心血管インターベンション治療学会 近畿地方会	2013.10.12
20	クロビドグレル過敏反応に対する経口ステロイドの短期使用により、クロビドグレルを中止することなく継続することができた2症例	藤原敬太 大野壮史 馬庭直樹 竹中淑夏 村木良輔 堂上友紀 武田吉弘	第21回日本心血管インターベンション治療学会 近畿地方会	2013.10.12
21	Delayed coronary perforation occurred at 20 minutes after rotablation followed by DES implantation for severe calcified LMCA lesions	Yoshihiro Takeda	Complex Cardiovascular Therapeutics 2013	2013.10.17
22	Complications in retrograde approach from Japanese Retrograde Summit registry	Yoshihiro Takeda	Complex Cardiovascular Therapeutics 2013	2013.10.17
23	International Joint session (パネリスト)	Yoshihiro Takeda	Complex Cardiovascular Therapeutics 2013	2013.10.18
24	PCI Live Case Transmission (オペレーター、コメンテーター)	Yoshihiro Takeda	Complex Cardiovascular Therapeutics 2013	2013.10.19
25	かかりつけ医が知っておくべき深部静脈血栓症のみかたと治療	永井義幸	第29回りんくう循環器ネットワーク研究会	2013.11.9
26	CTOにおいて、Conus BranchをRetrograde Channelとして使用し、成功を得るための解剖学的要因の検討	武田吉弘	第14回 Complex PCI Circle 勉強会	2013.11.9
27	労作時胸痛で初発し、短期間に増悪したALアミロイドーシスの2例	藤原敬太 大野壮史 馬庭直樹 竹中淑夏 村木良輔 堂上友紀 武田吉弘	第116回日本循環器学会 近畿地方会	2013.11.30
28	腫瘍状石灰化病変(Tumoral calcinosis)により脳塞栓を呈した1例	馬庭直樹 藤原敬太 大野壮史 竹中淑夏 村木良輔 堂上友紀 武田吉弘	第116回日本循環器学会 近畿地方会	2013.11.30
29	私のCTO戦略―「くさび」の使い方も含めて Crusade パラレル法について	武田吉弘	第22回日本心血管インターベンション治療学会 近畿地方会	2014.2.1
30	発症時期不明、CTO様閉塞を呈した完全房室ブロック合併・右冠動脈心筋梗塞の1例	堂上友紀 武田吉弘 藤原敬太 大野壮史 馬庭直樹 竹中淑夏 村木良輔 永井義幸	第22回日本心血管インターベンション治療学会 近畿地方会	2014.2.1
31	内服加療下に心停止、24時間以上ST上昇発作が寛解しなかった難治性冠攣縮性狭心症の一例	村木良輔 武田吉弘 藤原敬太 大野壮史 竹中淑夏 馬庭直樹 堂上友紀 永井義幸	第22回日本心血管インターベンション治療学会 近畿地方会	2014.2.1
32	心肺蘇生時の胸骨圧迫による肝損傷から出血性ショックに至った1例	藤原敬太 武田吉弘 大野壮史 竹中淑夏 馬庭直樹 村木良輔 堂上友紀 永井義幸	第22回日本心血管インターベンション治療学会 近畿地方会	2014.2.1
33	労作時胸痛で初発し、短時間に増悪したALアミロイドーシスの2例	藤原敬太 武田吉弘 大野壮史 竹中淑夏 馬庭直樹 村木良輔 堂上友紀 永井義幸	第19回中之島循環器・代謝フォーラム	2014.3.8

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
34	Multivariate Analysis for Predictors of Retrograde Failure after Successful Collateral Channel Crossing in PCI for CTO: Japanese Multicenter Registry Data	Yoshihiro Takeda, Soushi Oono, keita Fujiwara, Yoshika Takenaka, Naoki Maniwa, Ryosuke Muraki, Tomoki Dohue, Yoshiyuki Nagai	The 78th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society	2014.3.21

(2) 学術講演

番号整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1	循環器疾患を診るときのポイント	武田吉弘	第2回泉州地域医療フォーラム	2013.5.25

(3) 院内研究活動

番号整理	演 題	発 表 者	年 月 日
1	非ST上昇型心筋梗塞の治療後、遠隔期に労作時の息切れにて入院となった症例	堂上友紀	2013.6.20
2	この地域の激増する心不全患者をどうするか？ ＝りんくうでの最新の治療と取り組み 2013＝	武田吉弘	2013.6.20
3	新規抗凝固薬について	堂上友紀 武田吉弘	2013.10.24

**研究業績：診療局 呼吸器内科**

(1) 原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	4D model generator of the human lung, "Lung4Cer".	Kitaoka H, Koc S, Tetsumoto S, Koumo S, Hirata H, Kijima T.	Conf Proc IEEE Eng Med Biol Soc.		453-6	2013
2	Statins decrease lung inflammation in mice by upregulating tetraspanin CD9 in macrophages.	Jin Y, Tachibana I, Takeda Y, He P, Kang S, Suzuki M, Kuhara H, Tetsumoto S, Tsuji K, Minami T, Iwasaki T, Nakanishi K, Kohmo S, Hirata H, Takahashi R, Inoue K, Nagatomo I, Kida H, Kijima T, Ito M, Saya H, Kumanogoh A.	Sci Rep.	3	2669	2013

加 筆 順	題 名	著 者	著 書・誌 名	巻 (号)	ペ ー ジ	年
3	Calretinin mediates apoptosis in small cell lung cancer cells expressing tetraspanin CD9.	He P, Kuhara H, Tachibana I, Jin Y, Takeda Y, Tetsumoto S, Minami T, Kohmo S, Hirata H, Takahashi R, Inoue K, Nagatomo I, Kida H, Kijima T, Naka T, Morii E, Kawase I, Kumanogoh A.	FEBS Open Bio.	10(3)	225-30	2013
4	Validation of noninvasive morphological and diffusion imaging in mouse emphysema by micro-computed tomography and hyperpolarized (129)Xe magnetic resonance imaging.	Tetsumoto S, Takeda Y, Imai H, Kimura A, Jin Y, Nakanishi K, Maeda Y, Kuhara H, Tsuji no K, Iwasaki T, Shigeta H, Kondo Y, Ito M, Minami T, Hirata H, Takahashi R, Kohmo S, Nagatomo I, Inoue K, Kida H, Kijima T, Tachibana I, Maeda N, Funahashi T, Shimomura I, Fujiwara H, Kumanogoh A.	Am J Respir Cell Mol Biol.	49(4)	592-600	2013

番号	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
5	Overcoming chemoresistance of small-cell lung cancer through stepwise HER2-targeted antibody-dependent cell-mediated cytotoxicity and VEGF-targeted antiangiogenesis.	Minami T, Kijima T, Kohmo S, Arase H, Otani Y, Nagatomo I, Takahashi R, Miyake K, Higashiguchi M, Morimura O, Ihara S, Tsuji no K, Hirata H, Inoue K, Takeda Y, Kida H, Tachibana I, Kumanogoh A.	Sci Rep.	3	2669	2013
6	Drug-induced thrombotic thrombocytopenic purpura successfully treated with recombinant human soluble thrombomodulin.	Nishijima Y, Hirata H, Himeno A, Kida H, Matsumoto M, Takahashi R, Otani Y, Inoue K, Nagatomo I, Takeda Y, Kijima T, Tachibana I, Fujimura Y, Kumanogoh A.	Intern Med.	52(10)	1111-4	2013
7	Favorable responses to tocilizumab in two patients with cancer-related cachexia.	Hirata H, Tetsumoto S, Kijima T, Kida H, Kumagai T, Takahashi R, Otani Y, Inoue K, Kuhara H, Shimada K, Nagatomo I, Takeda Y, Goya S, Yoshizaki K, Kawase I, Tachibana I, Kishimoto T, Kumanogoh A.	J Pain Symptom Manage.	46(2)	e9-e13	2013
8	「気道過敏性の分子メカニズムと治療」に寄せる 大きくかわる呼吸機能検査データの解釈 動態イメージングと流体力学に基づいた換気力学の再構築	北岡裕子 平田陽彦 木島貴志	アレルギーの臨床	34巻 3号	268-273	2013
9	Large-conductance calcium-activated potassium channels.	Kume Hiroaki	Calcium Signaling In Airway Smooth Muscle Cells(Springer, New York, U.S.A)	Ed. by Wang YX	49-83	2013
10	【COPD-その病態と最新治療】ステロイド薬の使い方(吸入・経口)	東本有司 東田有智	カレントセラピー	31巻 5号	513-517	2013

## 研究業績：診療局 外科

### (1) 原著、総説、著書

番号 整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻 (号)	ページ	年
1	乳房超音波画像診断における新しい技術 と他のモダリティの位置付け	位藤俊一	乳房画像診断最前線 －超音波診断を中心に－		2-10	2013
2	Bモード評価の基本	位藤俊一	乳房画像診断最前線 －超音波診断を中心に－		24-27	2013
3	乳癌に対するラジオ波焼灼療法	位藤俊一	乳房画像診断最前線 －超音波診断を中心に－		237-241	2013
4	RFAにおける病理組織学的評価	位藤俊一	乳房画像診断最前線 －超音波診断を中心に－		242-246	2013
5	体表(乳腺・甲状腺)	位藤俊一	クイズで学ぶ 超音波診断 実践トレーニング		67-75	2013
6	造影超音波による乳腺腫瘍の治療効果判定	位藤俊一	インナービジョン	28(3)	35-38	2013
7	乳頭癌の合併を認めた甲状腺管嚢胞の13 歳男児例	飯干泰彦 位藤俊一 児玉 匡 山村憲幸 水野 均 藤井 仁 西谷暁子 藤井亮知 人羅俊貴 藤井亮知 伊豆蔵正明	日小外会誌	49(5)	1032-1036	2013.8
8	尿管管洞の保存的治療	児玉 匡 位藤俊一 飯干泰彦 山村憲幸 水野 均 藤井 仁 西谷暁子 藤井亮知 人羅俊貴 藤井亮知 伊豆蔵正明	日小外会誌	49(5)	981-985	2013.8
9	小児の救急医療(emergency care of child)	飯干泰彦	系統小児外科学		192-197	2013.9
10	消化管造影検査	飯干泰彦	小児外科診療 ハンドブック		61-64	2014.2
11	肛門疾患	飯干泰彦	小児外科診療 ハンドブック		357-362	2014.2

### (2) 学会研究会報告

番号 整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1	①造影超音波の実際と検査に役立つ最新技 術 ②LOGIQ E9に搭載された音速調整技術の使 用経験	位藤俊一	日本乳腺甲状腺超音波医学会 学術集会(30) (福島)	2013.4.21
2	乳腺診療における造影超音波の有用性	位藤俊一	乳腺超音波検査フォーラム (松山)	2013.5.10
3	乳腺領域における三次元(3D)、四次元(4D)造 影超音波およびエラストグラフィの有用性	位藤俊一	日本超音波医学会学術集会(86) (大阪)	2013.5.24-26
4	クイズコンテスト「体表臓器」	位藤俊一	日本超音波医学会学術集会(86) (大阪)	2013.5.24-26
5	非腫瘍性病変に関する用語	位藤俊一	日本超音波医学会学術集会(86) (大阪)	2013.5.24-26
6	乳がんの診断、治療における造影超音波	位藤俊一	静岡乳腺診断・治療研究会(19) (浜松)	2013.6.1
7	乳腺、甲状腺超音波診断－基本から新技術ま で－	位藤俊一	りんくう乳腺・内分泌研究会(14) (泉佐野)	2013.6.8
8	日常診療における乳腺造影超音波検査の役 割	位藤俊一	日本超音波検査学会学術集会 (38) (松山)	2013.6.16
9	造影超音波による乳腺診療の幕開け	位藤俊一	日本乳癌学会学術総会(21) (浜松)	2013.6.27-29
10	最新の造影超音波イメージング ～乳腺をはじ めとする臨床応用の進展～	位藤俊一	Meet the Expert 腫瘍血管イメージング講演会 (京都)	2013.8.26



番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
11	乳がん外科診療における造影超音波の有用性	位藤俊一	日本磁気共鳴医学会大会(41) (徳島)	2013.9.20
12	乳癌へのアプローチ ～診断から治療まで～	位藤俊一	日本乳腺甲状腺超音波医学会 学術集会(31) (神戸)	2013.9.22-23
13	インターベンションの適応と方法の選択	位藤俊一	日本乳腺甲状腺超音波医学会 学術集会(31) (神戸)	2013.9.22-23
14	日常臨床における乳腺造影超音波	位藤俊一	乳腺画像カンファレンス(32) (旭川)	2013.9.26
15	乳がん診療における造影超音波の有用性	位藤俊一	秋田県乳房造影超音波セミナー (秋田)	2013.10.5
16	乳腺診断における造影超音波	位藤俊一 水野 均 飯干泰彦 山村憲幸 西谷暁子 藤井 仁 今里光伸 藤井亮知 児玉 匡 菊地浩輔 伊豆蔵正明	日本乳癌検診学会学術総会(23) (新宿)	2013.11.8-9
17	良性乳腺疾患診断における造影超音波の有用性	位藤俊一 水野 均 飯干泰彦 山村憲幸 西谷暁子 藤井 仁 今里光伸 藤井亮知 児玉 匡 菊地浩輔 伊豆蔵正明	日本臨床外科学会総会(75) (愛知)	2013.11.21-23
18	ラジオ波焼灼療法	位藤俊一	第9回乳腺MRIIntervention研究会 (高松)	2014.3.16
19	Tension free repair 後の鼠径ヘルニア再発に 腹腔鏡下手術(TAPP)を施行した症例の検 討	水野 均 位藤俊一 飯干泰彦 山村憲幸 西谷暁子 藤井 仁 人羅俊貴 藤井亮知 大橋朋史 中川敬也 児玉 匡 伊豆蔵正明	日本ヘルニア学会(11) (仙台)	2013.5.10-11
20	大腸がんの最近の治療	水野 均	市民健康講座 (泉佐野)	2013.7.20
21	鼠径ヘルニアに対する腹腔鏡手術	水野 均	りんくう消化器病研究会(24) (泉佐野)	2013.11.2
22	再発鼠径ヘルニアに対する腹腔鏡下ヘルニ ア修復術(TAPP)施行例の検討	水野 均 位藤俊一 飯干泰彦 山村憲幸 西谷暁子 藤井 仁 今里光伸 藤井亮知 児玉 匡 菊地浩輔 伊豆蔵正明	日本臨床外科学会総会(75) (愛知)	2013.11.21-23
23	TAPPにて修復したPHS法術後Rec II-1型再発 の1例	水野 均	関西ヘルニア研究会(8) (大阪)	2013.12.7
24	アミノ酸の分子標的、mTORシグナルを活性化 するアミノ酸、ジペプチド	飯干泰彦 寺田直弘 位藤俊一 水野 均 山村憲幸 西谷暁子 藤井 仁 人羅俊貴 藤井亮知 中川敬也 大橋朋史 児玉 匡 伊豆蔵正明	日本外科代謝栄養学会学術集会 (50) (千代田)	2013.7.4-5
25	小児回盲部腸間膜リンパ節炎16例の検討	飯干泰彦 水野 均 児玉 匡 藤井亮知 人羅俊貴 藤井 仁 西谷暁子 山村憲幸 位藤俊一 伊豆蔵正明	日本消化器外科学会総会(68) (宮崎)	2013.7.17-19
26	消化器癌のサポート ～栄養・緩和ケア・その他～	飯干泰彦	泉佐野・泉南薬剤師会合同勉強会 (163) (泉佐野)	2013.9.12
27	腸管粘膜防御における粘液層の重要性	飯干泰彦	第18回泉州地区NST研究会 (岸和田)	2014.3.1

番号 整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
28	左側胆嚢に対する単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術の一例	山村憲幸 位藤俊一 水野 均 飯干泰彦 西谷暁子 藤井 仁 今里光伸 藤井亮知 児玉 匡 今北正美 伊豆蔵正明	りんくう消化器病研究会(23) (泉佐野)	2013.6.15
29	当院における腹腔鏡下胃瘻造設術による緩和ケア	山村憲幸 位藤俊一 水野 均 飯干泰彦 西谷暁子 藤井 仁 今里光伸 藤井亮知 児玉 匡 今北正美 伊豆蔵正明	日本消化器外科学会総会(68) (宮崎)	2013.7.17-19
30	当院における腹腔鏡下経皮的胃瘻造設術の経験	山村憲幸 位藤俊一 水野 均 飯干泰彦 西谷暁子 藤井 仁 今里光伸 藤井亮知 児玉 匡 今北正美 伊豆蔵正明	日本内視鏡外科学会総会(26) (福岡)	2013.11.28-30
31	当科における再発GISTに対する治療成績	西谷暁子 位藤俊一 水野 均 飯干泰彦 山村憲幸 藤井 仁 今里光伸 藤井亮知 児玉 匡 今北正美 伊豆蔵正明	日本消化器外科学会総会(68) (宮崎)	2013.7.17-19
32	胃癌肺転移に対しアブラキササンでコントロールし得た1例	西谷暁子	りんくう消化器病研究会(24) (泉佐野)	2013.11.2
33	大腸癌肝転移病巣に対するペバシズマブ治療効果判定の試み	藤井 仁 位藤俊一 水野 均 飯干泰彦 山村憲幸 西谷暁子 人羅俊貴 藤井亮知 大橋朋史 中川敬也 児玉 匡 伊豆蔵正明	日本肝胆膵外科学会(25) (宇都宮)	2013.6.12-14
34	ESMO Group3に対する症例検討	藤井 仁 水野 均 位藤俊一 飯干泰彦 山村憲幸 西谷暁子 今里光伸 藤井亮知 児玉 匡 菊地浩輔 伊豆蔵正明	最新の大腸癌治療を考える会 (3) (泉佐野)	2013.10.31
35	急性虫垂炎に対する治療戦略の検討	藤井 仁 位藤俊一 水野 均 飯干泰彦 山村憲幸 西谷暁子 今里光伸 藤井亮知 児玉 匡 菊地浩輔 伊豆蔵正明	日本臨床外科学会総会(75) (愛知)	2013.11.21-23
36	鏡視下手術を併用した大腿ヘルニア虫垂巖頓の1例	藤井 仁 位藤俊一 水野 均 飯干泰彦 山村憲幸 西谷暁子 今里光伸 藤井亮知 児玉 匡 菊地浩輔 伊豆蔵正明	日本内視鏡外科学会総会(26) (福岡)	2013.11.28-30
37	真性多血症に合併した腓体部癌の1例	藤井亮知 位藤俊一 水野 均 飯干泰彦 山村憲幸 西谷暁子 藤井 仁 今里光伸 児玉 匡 菊池浩輔 伊豆蔵正明 今北正美	日本臨床外科学会総会(75) (愛知)	2013.11.21-23

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
38	直腸癌 同時性多発肝転移術後 再発に対してFOLFOX+アービタックスが長期間奏効した1例	藤井亮知 水野 均 位藤俊一 飯干泰彦 山村憲幸 西谷暁子 藤井 仁 今里光伸 児玉 匡 菊池浩輔 今北正美 伊豆蔵正明	Next leaders meeting of mCRC in South Osaka (大阪)	2013.6.27
39	尿管洞15例の治療経験	児玉 匡 飯干泰彦 位藤俊一 水野 均 山村憲幸 西谷暁子 藤井 仁 人羅俊貴 藤井亮知 大橋朋史 中川敬也 伊豆蔵正明	日本小児外科学会学術集会(50) (新宿)	2013.5.30-6.1
40	癌術後縫合不全に対して人血液凝固第XIII因子製剤が有効であった2例	菊地浩輔 位藤俊一 水野 均 飯干泰彦 山村憲幸 西谷暁子 藤井 仁 今里光伸 藤井亮知 児玉 匡 今北正美 伊豆蔵正明	日本臨床外科学会総会(75) (愛知)	2013.11.21-23
41	内視鏡的整復後に根治的手術を行った脂肪腫による成人腸重積2例の検討	石山 諭 山村憲幸 位藤俊一 水野 均 飯干泰彦 西谷暁子 藤井 仁 今里光伸 藤井亮知 児玉 匡 菊池浩輔 伊豆蔵正明	近畿外科学会(194) (大阪)	2013.11.9
42	小児腫瘍形成性虫垂炎に対するInterval appendectomy -完遂例とdropout例のエコー所見の比較-	福井美穂 飯干泰彦 水野 均 児玉 匡 山村憲幸 西谷暁子 藤井 仁 今里光伸 藤井亮知 菊地浩輔 石山 諭 位藤俊一 伊豆蔵正明	大阪超音波研究会(126) (大阪)	2013.9.18
43	小児腫瘍形成性虫垂炎に対するinterval appendectomy - 軽快しない場合、いつ、どうすべきか -	福井美穂 飯干泰彦 水野 均 児玉 匡 山村憲幸 西谷暁子 藤井 仁 今里光伸 藤井亮知 菊地浩輔 石山 諭 位藤俊一 伊豆蔵正明	小児外科わからん会(70) (大阪)	2013.9.28
44	血管新生阻害薬使用症例における造影超音波検査による治療効果判定の試み	中村雅美 位藤俊一 水野 均 飯干泰彦 山村憲幸 西谷暁子 藤井 仁 今里光伸 今北正美 伊豆蔵正明	日本超音波医学会関西地方会学術集会(40) (大阪)	2013.11.9

### (3) 学術講演

番号整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1	特別講演 「肝炎診療のピットフォール」 (座長)	伊豆蔵正明	泉州地域医療フォーラム(2) (泉佐野)	2013.5.25
2	一般演題 (座長)	伊豆蔵正明	りんくう消化器病研究会(23) (泉佐野)	2013.6.15
3	インターベンション研究部会企画 第6回ケースカンファレンス「次の一手は」 (司会)	位藤俊一	日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会(30) (福島)	2013.4.20-21
4	3Dエコーをいかに活用するか (座長)	位藤俊一	日本超音波医学会学術集会(86) (大阪)	2013.5.24-26

番号整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
5	ソナゾイド(r)による乳腺造影超音波検査の臨床応用 (座長)	位藤俊一	日本超音波医学会学術集会(86) (大阪)	2013.5.24-26
6	インターベンション研究部会企画 第7回ケースカンファレンス「次の一手は」 (司会)	位藤俊一	日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会(31) (神戸)	2013.9.22-23
7	一般演題 (座長)	位藤俊一	日本乳癌学会近畿地方会(11) (大阪)	2013.11.30
8	一般演題 (座長)	水野 均	泉州地区NST研究会(17) (岸和田)	2013.10.26
9	腹壁・腹膜・ヘルニア① (座長)	水野 均	近畿外科学会(194) (大阪)	2013.11.9
10	第18回泉州地区NST研究会 (座長)	水野 均	第18回泉州地区NST研究会	2014.3.1
11	いたみについて (座長)	西谷暁子	りんくう緩和ケア講習会(泉佐野)	2013.6.5

## 研究業績：診療局 脳神経外科

### (1) 原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	Use of 5-Aminolevulinic Acid to Detect Residual Meningioma and Ensure Total Removal while Avoiding Neurological Deficits	Shusuke Moriuchi, Kimito Yamada, Makoto Dehara, Yoshifumi Teramoto, Takao Soda, Masami Imakita, Mamoru Taneda	Neurology & Neurophysiology Moriuchi et al., J Neurol Neurophysiol 2013, 4:3			2013
2	テンシロン試験で偽陽性を示した眼瞼挙縮の1例	宗田高穂 武坂 絢 清水豪士 山田公人 出原 誠 寺本佳史 森内秀祐	大阪医学 The Journal of The Osaka Medical Association	第45巻 1号	39-41	2013

### (2) 学会研究会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1	直達手術により改善を得た intradual perimedullary AVF の1例	福永貴典 鷹羽良平 竹綱成典 立石明広 眞島 静 豊田真吾 瀧 琢有	第65日本脳神経外科学会近畿支部学術集会(大阪)	2013.4.6
2	5ALA で赤色発光が励起されたノカルジア脳膿瘍の1例	清水豪士 山田公人 出原 誠 宗田高穂 寺本佳史 今北正美 森内秀祐	第65日本脳神経外科学会近畿支部学術集会(大阪)	2013.4.6
3	私のこだわりの手術器具-Y コネクターホルダーボード-	出原 誠	第22脳神経外科手術と機器学会(長野)	2013.4.12-13
4	てんかん診療の現状 座長	森内秀祐	てんかん病診連携懇話会(大阪)	2013.4.25
5	Prevention of Hemorrhagic Complication by Avoiding the Medullary Veins in Deep Brain Stimulation Surgery	Makoto Dehara, Takao Soda, kimito Yamada, Yoshifumi Teramoto, Takeshi Simizu, Shusuke Moriuchi	The 16th Quadrennial Meeting of the World Society for Stereotactic and Functinal Neurosurgery(東京)	2013.5.27-30
6	講演 I 座長	森内秀祐	第3回南泉州神経フォーラム(大阪)	2013.6.1
7	A Novel Surical Support Device in Neuroendovascular Therapy:The Y-Connector Holder Board	出原 誠	East Asian Conference of Neurointervention 2013(神戸)	2013.6.6-9

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
8	突発性正常圧水頭症のシャント前後の認知機能評価と歩行障害改善のための歩行訓練について	森内秀祐 寺本佳史 櫛谷昭一 藤野文崇 小西勇亮 岡田仁志 一柳律子 廣谷典子 津野光昭 河野真也	第50回日本リハビリテーション医学会学術集会(東京)	2013.6.13-15
9	聴神経腫瘍摘出後迷走神経障害による嚥下機能障害に胃瘻併設の嚥下訓練にて嚥下機能を回復しえた症例	森内秀祐 寺本佳史 櫛谷昭一 藤野文崇 廣谷典子	第50回日本リハビリテーション医学会学術集会(東京)	2013.6.13-15
10	脳卒中急性期に Gait Solution の使用により歩行能力が改善した一症例	寺本佳史 藤野文崇 津野光昭 小西勇亮 岡田仁志 河野真也 廣谷典子 一柳律子 森内秀祐 櫛谷昭一	第50回日本リハビリテーション医学会学術集会(東京)	2013.6.13-15
11	特別講演Ⅱ 座長	宗田高穂	第7回りんくうブレインセミナー(大阪)	2013.6.29
12	iNPH にて LP シャント髄腔内チューブのガイドワイヤーによる方向修正で著名な症状改善を認めた 1 例	福永貴典 出原 誠 萩原 靖 宗田高穂 森内秀祐	第66回日本脳神経外科学会近畿支部学術集会(大阪)	2013.9.7
13	座長	森内秀祐	第66回日本脳神経外科学会近畿支部学術集会(大阪)	2013.9.7
14	Efficacy of Y-connector Holder Board in Neuroendovascular Therapy	Makoto Dehara, Masatake Yuki, Yoshifumi Teramoto, Kimito Yamada, Takeshi Shimizu, Takao Soda, Shusuke Moriuchi	WFNS 2013(Seoul, South Korea)	2013.9.8-13
15	5-ALA-induced Fluorescence does not Definitely Distinguish a Glioma from Brain Abscess: A Case Report	Takeshi Shimizu, Makoto Dehara, Takao Soda, Shusuke Moriuchi	WFNS 2013(Seoul, South Korea)	2013.9.8-13
16	特発性正常圧水頭症の腰椎腹腔シャント後の歩行障害改善と残存認知機能低下に対するドネペジルの有効性について	森内秀祐 萩原 靖 出原 誠 福永貴典 宗田高穂	第72回日本脳神経外科学会総会(横浜)	2013.10.16-18
17	再発 GBM にアバスチンが奏効した 1 例	森内秀祐	紀和・南大阪グリオーマカンファレンス(大阪)	2013.11.9
18	A Novel Surgical Support Device in Neuroendovascular Therapy: The Y-Connector Holder Board	Makoto Dehara, Masatake Yuki, Takanori Fukunaga, Yasushi Hagihara, Takao Soda, Shusuke Moriuchi	12th Congress WFITN (Buenos Aires, Argentina)	2013.11.9-14
19	Use of 5-aminolevulinic acid for detection of residual meningioma for total removal and avoidance of neurological deficits	Shusuke Moriuchi, Makoto Dehara, Takanori Fukunaga, Yasushi Hagiwara, Takao Soda, Masami Imakita	4th Quadrennial Meeting of the World Federation of Neuro-Oncology (San-Francisco, USA)	2013.11.21-24

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
20	Vaccination of Dendritic Cells Loaded by electroporation with Autologous Tumor Lysate for Patients with Recurrent Malignant Glioma: Evaluation of Safety and Immune Response	Yonehiro kanemura, Miho Sumida, Ema Yoshioka, Atuyo Yamamoto, Daisuke Kanematu, Ai Takeda, Masahiro Nonaka, Sin Nakajima, shigenori Goto, Takashi Kamigaki, Masashi Takahara, Ryuji Maekawa, Tomoko Shofuda, Shusuke Moriuchi, and Mami Yamasaki	4th Quadrennial Meeting of the World Federation of Neuro-Oncology (San-Francisco, USA)	2013.11.21-24
21	MGMT プロモーター非メチル化膠芽腫に対する免疫細胞治療およびベバシズマブ療法有効例	森内秀祐 福永貴典 出原 誠 萩原 靖	第31回日本脳腫瘍学会学術集会 (宮崎)	2013.12.8-10
22	術中残存髄膜腫の同定、及び神経脱落症状を避けながら全摘出する際の 5-ALA の有効性	福永貴典 出原 誠 森内秀祐 宗田高穂 今北正美	第31回日本脳腫瘍学会学術集会 (宮崎)	2013.12.8-10
23	特発性正常圧水頭症の腰椎腹腔シャント後の認知機能障害残存例でドネペジル投与が有効であった4例の検討	森内秀祐 萩原 靖 出原 誠 福永貴典 宗田高穂	第15回日本正常圧水頭症学会 (大阪)	2014.2.1
24	座長	森内秀祐	第9回南泉州脳卒中診療研究会 (大阪)	2014.2.15
25	脳卒中後の生活の質の向上を目指した痙性麻痺に対する治療	出原 誠	第9回南泉州脳卒中診療研究会 (大阪)	2014.2.15
26	脳障害早期からの痙縮に対する治療	出原 誠	第8回近畿ITBカンファレンス (大阪)	2014.2.22
27	二か国語使用者の交叉性失語についての検討	宗田高穂 福永貴典 出原 誠 萩原 靖 森内秀祐	第39回日本脳卒中学会総会 (東京)	2014.3.13-15
28	大阪南泉州地域における SCU の現状:脳卒中患者受入窓口の救命センター一元化	森内秀祐 萩原 靖 出原 誠 福永貴典 宗田高穂	第39回日本脳卒中学会総会 (東京)	2014.3.13-15
29	再発性くも膜下出血:新生動脈瘤と再発性動脈瘤の検討	萩原 靖 出原 誠 福永貴典 宗田高穂 森内秀祐 松岡哲也	第39回日本脳卒中学会総会 (東京)	2014.3.13-15

### (3) 学術講演

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1	座長	宗田高穂	第49回南大阪神経カンファレンス	2013.7.18
2	泉州地区での脳卒中治療の現状について	森内秀祐	サノフィー(株)社内レクチャー	2013.7.18
3	脳梗塞について	森内秀祐	日本ベーリンガーインゲルハイム(株)MR向けレクチャーミーティング	2013.10.10
4	当院における脳外科領域の UPDATE～救急から慢性疾患・脳腫瘍まで～	森内秀祐	第9回DSミーティング	2014.3.8
5	脳卒中と高血圧	森内秀祐	日本ベーリンガーインゲルハイム(株)MR向けレクチャーミーティング	2014.3.19
6	オペ後のてんかん発作と治療/ボツリヌス療法の使用経験	森内秀祐	グラクソスミスクライン社内研修会	2014.3.26
7	セレニカでの片頭痛予防	森内秀祐	興和創薬株式会社 社内研修会	2014.3.28

### (4) 院内研究活動

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1	見逃してはいけない頭痛	森内秀祐	第158回臨床集談会	2013.7.25



## 研究業績：診療局 心臓血管科

### (1) 学会研究会報告

番号	整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1		「りんくう総合医療センター心臓センターの新しい診療体制について ～救命救急センターとの循環器救急一元化の効果」	松江 一	りんくう循環器ネットワーク研究会	2013.5.18

### (2) 院内研究活動

番号	整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1		心臓病は「りんくう」におまかせ下さい ～ 地域に根ざしたりんくう循環器救急診療システム :心臓センターと救命救急センターのコラボレーション ～	松江 一	市民健康講座	2013.6.22
2		弁膜症・心雑音外来を始めました。もう一度考えましょう。 心臓弁膜症の初期診断と治療の至適時期について。	松江 一	臨床集談会	2013.6.27

## 研究業績：診療局 整形外科

### (1) 原著、総説、著書

番号	整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1		CT based navigationを用いたtransverse acetabular ligamentwを指標とした術中Cup前捻角の測定	藪野互平 澤田典与司 渋谷高明 大澤 傑	HipJoint	39	782-785	2013
2		健康な運動部男児に発生した股関節周囲膿瘍の1例	渡邊真生 澤田典与司 小瀬弘樹 藪野互平 金澤元宣	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	56	1143-1144	2013

### (2) 学会研究会報告

番号	整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1		健康なバスケットボール部男児に発生した股関節周囲膿瘍の1例	渡邊真生 澤田典与司 小瀬弘樹 藪野互平 金澤元宣	第120回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会	2013.4.5-6
2		生物製剤スイッチ後に暖除に発生した多発性化膿性関節炎2症例	藪野互平 小瀬弘樹 金澤元宣	第57回日本リウマチ学会	2013.4.18-20
3		C3-6椎弓形成術と比較したC3-5椎弓形成術の術後軸性疼痛の経時的検討	渡邊真生 有賀健太 辻 寛謙 大堀智毅 竹内ひかり 原田武雄 垣内雅明	第42回日本脊椎脊髄病学会	2013.4.24-27
4		再置換を要したMoM THAの経験	澤田典与司 藪野互平 金澤元宣	第35回関西股関節研究会	2013.4.27
5		CroweIV脱臼性股関節症に対するCT based navigation使用した短縮骨切りTHAのカップ設置の経験	藪野互平 澤田典与司 渡邊真生 野上雅史 小瀬弘樹 金澤元宣	第40回日本股関節学会	2013.11.29-30
6		京セラ alumina on alumina THAの10年成績	澤田典与司 藪野互平 渡邊真生 野上雅史 小瀬弘樹 金澤元宣 榎谷昭一	第40回日本股関節学会	2013.11.29-30
7		異所性骨化により生じた強直股の治療経験	渡邊真生 澤田典与司 野上雅史 小瀬弘樹 藪野互平 金澤元宣	第36回関西股関節研究会	2013.12.14
8		UKAにおけるNavigationの脛骨コンポーネント設置精度	澤田典与司 藪野互平 渡邊真生 野上雅史 小瀬弘樹 金澤元宣	第44回日本人工関節学会	2014.2.21-22
9		CT based Navigation人工股関節全置換術における大腿オフセット変化による軟部組織バランスの評価	藪野互平 澤田典与司 渡邊真生 野上雅史 小瀬弘樹 金澤元宣	第44回日本人工関節学会	2014.2.21-22
10		10 years results of alumina-on-alumina THA with cemented polyethylene-backed	澤田典与司 藪野互平 金澤元宣	AAOS 2014 Annual Meeting	2014.3.11-15

### (3) 学術講演

番号 整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1	これかの股関節外科にもとめらること	藪野互平	泉佐野市医師会	2013.8
2	ひざ、股関節痛を乗り越えよう。歩ける喜び、関節に痛みのない生活を	藪野互平 澤田典与司	よみうり・健康講座	2013.10.26
3	よくわかるコンピューターナビゲーションによる人工関節手術	澤田典与司 藪野互平	よみうり・健康講座	2013.3.2
4	「関節リウマチ」内科と整形外科の観点から	入交重雄 小瀬弘樹	市民健康講座(泉佐野市)	2013.5.18

## 研究業績：診療局 形成外科

### (1) 学会研究会報告

番号 整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1	顔面に生じたアポクリン腺癌の1例	前田大介 服部 亮	第40回大阪形成外科医会	2014.2.11

### (2) 院内研究活動

番号 整理	演 題	発 表 者	年 月 日
1	第164回臨床集談会 創傷処置について -たかが傷、されど傷-	前田大介 服部 亮	2014.1.23

## 研究業績：診療局 呼吸器外科

### (1) 学会研究会報告

番号 整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1	突然の胸痛で発症後、いわゆる spontaneous regression を呈した胸腺腫の2例	桂 浩 別所俊哉	第30回日本呼吸器外科学会総会	2013.5.9
2	Right top pulmonary vein を伴った肺癌に対する右下葉切除の経験	百武 威 桂 浩 別所俊哉	第26回日本内視鏡外科学会総会	2013.11.28

### (2) 学術講演

番号 整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1	最近の呼吸器外科-とくに肺癌の外科治療を中心に-	桂 浩	第159回泉佐野・泉南薬剤師会合同勉強会	2013.4.11
2	呼吸器外科の今昔物語	桂 浩	第9回りんくう外科連携セミナー	2013.11.13

### (3) 院内研究活動

番号 整理	演 題	発 表 者	年 月 日
1	臨床集談会 「こんな胸水は手術です」	百武 威	2013.12.27

## 研究業績：診療局 小児科

### (1) 学会研究会報告

番号 整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1	肝胆道系・膵酵素上昇を認めた幼児の1例	山本真也 竹村 亮 竹中朋代 今西洋介 山本昌周 和田芳郎 住田 裕	第18回泉州小児科症例勉強会 (岸和田市)	2014.2.20



## 研究業績：診療局 泌尿器科

### (1) 原著、総説、著書

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	A case of collecting duct carcinoma originating from renal cyst.	Nanpo Y, Fujii R, Nishizawa S, Sasaki Y, Kodama Y, Matsumura N, Inagaki T, Kohjimoto Y, Nakamura Y, Hara I.	Hinyokika Kiyo. 2013 Jan (Article in Japanese)	59(1)	11-5	2013
2	Docetaxel in combination with estramustine and prednisolone for castration-resistant prostate cancer.	Kuramoto T, Inagaki T, Fujii R, Sasaki Y, Nashizawa S, Nanpo Y, Matsumura N, Kohjimoto Y, Hara I.	Int J Clin Oncol 2013 Oct	18(5)	890-7	2013
3	Heat shock protein DNAJB8 is a novel target for immunotherapy of colon cancer-initiating cells.	Morita R, Nishizawa S, Torigoe T, Takahashi A, Tamura Y, Tsukahara T, Kanaseki T, Sokolovskaya A, Kochin V, Kondo T, Hashino S, Asaka M, Hara I, Hirohashi Y, Sano N.	Cancer Sci.2014 Apr	105(4)	389-95	2014

### (2) 学会研究会報告

番号整理	演題	発表者	学会・研究会名	年月日
1	根治的前立腺全摘除術後患者の死因に関する検討	○萩野恵三 森山泰成 佐々木有見子	第101回日本泌尿器科学会総会	2013.4.26 札幌市
2	りんくう総合医療センターにおけるr-TUL、f-TULの治療成績	○森山泰成 佐々木有見子 萩野恵三	第101回日本泌尿器科学会総会	2013.4.27 札幌市
3	当施設における腎部分切除術の治療成績 マイクロ波組織凝固装置を用いた無阻血下腎部分切除術と従来の腎部分切除術との比較	○佐々木有見子 萩野恵三 森山泰成	第101回日本泌尿器科学会総会	2013.4.28 札幌市
4	前立腺癌に対する内分泌療法におけるゾレゾロン酸併用療法が骨密度の変化にもたらす効果に対する前向き臨床研究	○西澤 哲 稲垣 武 楠本浩貴 吉川和朗 児玉芳季 康根 浩 松村永秀 柑本康夫 原 勲	第101回日本泌尿器科学会総会	2013.4.27 札幌市
5	前立腺全摘の治療成績 ～1術者での5年間の検討～	○森山泰成 萩野恵三 西澤 哲 佐々木有見子	第5回Wakayama Urological Conference	2013.11.2 和歌山市

## 研究業績：診療局 耳鼻咽喉科

### (1) 学会研究会報告

番号	整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1		語音聴取閾値を用いた難聴児の聴覚補償の評価 －補聴器の場合－	中原 啓 間 三千夫 碓田猛真 夜陣真司 近藤俊輔 河野 淳 鈴木幹男 北野博也 榎本雅夫	第114回日本耳鼻咽喉科学会 総会	2013.5.15-18 札幌市
2		語音聴取閾値を用いた難聴児の聴覚補償の評価 －人工内耳の場合－	間 三千夫 中原 啓 碓田猛真 夜陣真司 近藤俊輔 宝上竜也 河野 淳 鈴木幹男 北野博也 榎本雅夫	第114回日本耳鼻咽喉科学会 総会	2013.5.15-18 札幌市
3		Results in Monosyllabic Words Test of Children with Cochlear Implants in Japan	Hazama, M., Nakahara, K., Sakoda, T., Kawano, A., Suzuki, M., Kitano, H., Enomoto, T.	11th European Symposium on Paediatric Cochlear Implantation (ESPCI)	2013.5.23-26 Istanbul, Turkey
4		セツキシマブ＋化学療法が奏功した再発上咽頭癌症例	宝上竜也 碓田猛真 夜陣真司 中原 啓 榎本雅夫	第325回日耳鼻大阪地方連 合会	2013.5.25 大阪市
5		Stage 3,4下咽頭癌に対するMTX-5FU-CDGP療法の効果	碓田猛真 宝上竜也 中原 啓 榎本雅夫 北野博也	第37回日本頭頸部癌学会	2013.6.13-14 東京
6		HIV陰性のPlasmablastic lymphomaの一例	宝上竜也 夜陣真司 中原 啓 碓田猛真 榎本雅夫	第37回日本頭頸部癌学会	2013.6.13-14 東京
7		当科におけるMTX-5FU-CDGP療法	碓田猛真 宝上竜也 夜陣真司 中原 啓 榎本雅夫	第81回和歌山医学会総会	2013.7.7 和歌山市
8		当科を受診した機能的難聴患者についての検討	中原 啓 間 三千夫 碓田猛真 夜陣真司 宝上竜也 榎本雅夫	第81回和歌山医学会総会	2013.7.7 和歌山市
9		小児難聴者への医療支援に関する一考察	間 三千夫 中原 啓 碓田猛真 夜陣真司 榎本雅夫 河野 淳 北野博也 鈴木幹男	第81回和歌山医学会総会	2013.7.7 和歌山市
10		Stage 3,4下咽頭癌に対するMTX-5FU-CDGP療法	碓田猛真 宝上竜也 中原 啓 榎本雅夫	第11回日本臨床腫瘍学会	2013.8.29-31 仙台市
11		中耳に発生した浸潤型真菌症の1例	中原 啓	第1回日本耳鼻咽喉科感染症エ アロゾル学会	2013.9.6-7 大分市
12		耳型採取の際にチューブ抜去に至った症例	碓田猛真 間 三千夫 中原 啓 宝上竜也 夜陣真司 榎本雅夫	第326回日耳鼻大阪地方連 合会	2013.9.7 大阪市
13		鼻アレルギーとプロバイオティクス －Enterococcus faecalis－	榎本雅夫 碓田猛真 中原 啓 夜陣真司 宝上竜也 張 清照 朱 魯平 程 雷 嶋田貴志	第326回日耳鼻大阪地方連 合会	2013.9.7 大阪市
14		重粒子線照射の4年後に脳膿瘍を生じた上顎洞腺様嚢胞癌の1例	中原 啓 碓田猛真 北野博也 榎本雅夫	第52回日本鼻科学会	2013.9.26-28 福井市
15		会話障害を伴った機能的難聴患者についての検討	中原 啓 間 三千夫 碓田猛真 河野 淳 北野博也	第58回日本音声言語医学会	2013.10.17-18 高知市
16		いわゆる聴覚情報処理障害の病態に関する一考察	間 三千夫 中原 啓 碓田猛真 河野 淳	第58回日本音声言語医学会	2013.10.17-18 高知市

番号 整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
17	最新型デジタル補聴器「リサウンド・バーソ」雑音負荷下での聞き取り	碓田猛真 間 三千夫 中原 啓 宝上竜也 榎本雅夫 島崎 歩	第58回日本聴覚医学会	2013.10.24-25 松本市
18	生後3-4ヶ月でFM送受信機付き補聴器装用をした乳児への人工内耳施行後の聴覚反応-非装用群との比較検討において-	間 三千夫 中原 啓 碓田猛真 宝上竜也 河野 淳 北野博也 榎本雅夫	第58回日本聴覚医学会	2013.10.24-25 松本市
19	顔面神経麻痺を来した浸潤性アスペルギルス症の一例	碓田猛真 中原 啓 宝上竜也 榎本雅夫	第23回日本耳科学会	2013.11.24-26 宮崎市
20	Cochlear Implant Post-operative Hearing Response of Infants Provided with Hearing Aids with FM Systems 3-4 Months after Birth -Comparison to Those without FM Systems-	Hazama, M., Nakahara, K., Sakoda, T., Yajin, S., Hojo, T., Kawano, A., Suzuki, M., Kitano, H., Enomoto, T.	The 9th Asia Pacific Symposium on Cochlear Implants and Related Sciences (APSCI)	2013.11.26-29 Hyderabad,India
21	Results in Monosyllabic Words Test of Children with Cochlear Implants in Japan	Hojo, T., Hazama, M., Nakahara, K., Sakoda, T., Yajin, S., Kawano, A., Suzuki, M., Kitano, H., Enomoto, T.	The 9th Asia Pacific Symposium on Cochlear Implants and Related Sciences (APSCI)	2013.11.26-29 Hyderabad,India
22	顔面神経麻痺を来した浸潤性アスペルギルス症の1例	宝上竜也 夜陣真司 中原 啓 碓田猛真 榎本雅夫	第327回日耳鼻大阪地方連合会	2013.12.7 大阪市
23	耳下腺に発生した壊死性唾液腺化生症の1例	中原 啓 宝上竜也 夜陣真司 碓田猛真 榎本雅夫	第328回日耳鼻大阪地方連合会	2014.3.1 大阪市
24	長期寛解を得ている甲状腺未分化癌の2例	碓田猛真 宝上竜也 夜陣真司 中原 啓 榎本雅夫	第328回日耳鼻大阪地方連合会	2014.3.1 大阪市

## (2) 院内研究活動

番号 整理	演 題	発 表 者	年 月 日
1	第156回臨床集談会 幼児難聴と人工内耳	碓田猛真	2013.5.23

## 研究業績：診療局 歯科口腔外科

### (1) 学会研究会報告

番号 整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1	Clinical Results of BNCT for Patients with Recurrent Head and Neck Cancer	I. Kato, N. Yamamoto, Y. Fujita, M. Ohmae, et al	5th Trilateral Meeting on BNCT Research among KURRI, Taipei VGH and Tsing Hua University (Kyoto)	2013.4.6
2	Superselective intra-arterial chemotherapy for oral cancer by subcutaneous implantation of an intra-arterial catheter and an infusion reservoir: A new chemotherapy method to improve the quality of life and curative effect	Ohmae Masatoshi Kato Itsuro Nakazawa Mitsuhiro	ASCO 2013 (Chicago, USA)	2013.5.31-6.4

番号 整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
3	Superselective Intra-arterial Chemotherapy for Oral Cancer with Implanted Infusion Reservoir: A New Chemotherapy Method to Improve Both the Curative Effect and the Quouality of Life	Ohmae Masatoshi Kato Itsuro Nakazawa Mitsuhiro	IAOO 2013 (Rhodos, Greek)	2013.5.17-20
4	再発頭頸部がんにおけるホウ素中性子捕捉療法の有用性	加藤逸郎 山本直典 藤田祐生 大前政利 他	第67回日本口腔科学会学会学術集会(宇都宮)	2013.5.22-24
5	ホウ素中性子捕捉療法が著効した舌癌頸部再発の1例	鳴瀬智史 柳本惣市 梅田正博 <sup>1</sup> 加藤逸郎 大前政利 他	第67回日本口腔科学会学会学術集会(宇都宮)	2013.5.22-24
6	再発頭頸部がんにおけるホウ素中性子捕捉療法	加藤逸郎 山本直典 藤田祐生 岩上隆紀 大前政利 他	第37回 日本頭頸部癌学会(東京)	2013.6.13-15
7	頸部大動脈浸潤頭頸部がんに対するホウ素中性子捕捉療法に関するポジションペーパーの作成	大前政利 加藤逸郎 他	第10回日本中性子捕捉療法学会(岡山)	2013.9.7-8
8	再発頭頸部がんにおけるホウ素中性子捕捉療法の有効性	加藤逸郎 山本直典 藤田祐生 岩上隆紀 大前政利 他	第10回日本中性子捕捉療法学会総会	2013.9.7-8
9	治療法のない再発口腔癌に対するホウ素中性子捕捉療法の有用性	加藤逸郎 山本直典 藤田祐生 岩上隆紀 大前政利 他	第58回日本口腔外科学会総会	2013.10.11-13
10	治療法がない再発頭頸部悪性腫瘍に対するホウ素中性子捕捉療法の有用性	加藤逸郎 山本直典 藤田祐生 岩上隆紀 大前政利 鈴木 実 小野公二 他	第51回日本がん治療学会総会(京都)	2013.10.24-26
11	平成24年度以後のBNCT症例	加藤逸郎 山本直典 藤田祐生 大前政利 櫻井良憲 熊田博明 岩井聡一 <sup>1</sup> 墨 哲郎 <sup>1</sup> 中澤光博 丸橋 晃 今堀良夫 切畑光統 小野公二 他	平成25年度京都大学原子炉実験所専門研究会	2013.12.10-11
12	Boron Neutron Capture TherapyF or Recurrent Head and Neck Malignancies Without Other Treatment Options	I. Kato, N. Yamamoto, Y. Fujita, M. Ohmae, Y. Sakrai, H. Kumada, I. Murata, H. Miyamaru, A. Maruhashi, M. Kirihata <sup>6</sup> , Y. Imahori <sup>7</sup> , M. Suzuki, M. Nakazawa, Y. K. Ono	6th Trilateral Meeting on BNCT Meeting between Taiwan and Japan(Taipei,Taiwan)	2013.12.13

## (2) 学術講演

番号整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1	周術期がん患者口腔ケアの実際	大前政利	貝塚歯科医師会(スターゲイトホテル)	2013.7.27
2	Boron Neutron Capture Therapy or Recurrent Head and Neck Malignancies Without Other Treatment Options.	I. Kato, N. Yamamoto, Y. Fujita, M. Ohmae, Y. Sakurai, M. Suzuki, I. Murata, H. Horiike, T. Sumi, S. Iwai, M. Nakazawa, and K. Ono	Seminar at Dept. of Radiation Oncology, Medical Hospital, Barcelona University, (Barcelona, Spain)	2013.9.25
3	口腔粘膜疾患と疼痛・神経疾患の鑑別と対応	大前政利	大阪保険医協会(浪切ホール)	2014.2.13

## (3) 院内研究活動

番号整理	演 題	発 表 者	年 月 日
1	臨床集談会 『口腔粘膜疾患と舌痛症』	大前政利	2013.8.22
2	生活習慣病 『糖尿病と肢種苗』	大前政利	2013.10.10

## 研究業績：診療局 麻酔科

## (1) 原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	手術終了時におけるロクロニウム残存量の推定 -Tivatrainer© を用いたシミュレーション-	土井浩義 井戸和己 足立匡司 米本紀子 仲谷 憲 小林俊司	日本臨床麻酔学会誌	Vol.33 No.7	970-973	2013

## (2) 学会研究会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1	前腕局所加温により、パルスオキシメータによるヘモグロビン値測定精度は向上するか？	小林俊司 森本正昭 足立匡司 井戸和己 長尾典尚 久場良彦	日本麻酔科学会第60回学術集会 ポスター演題	2013.5.23-25
2	環軸椎後方固定術後患者への気管挿管後の挿管チューブ狭窄を来した一例	長尾典尚 井戸和己 小林俊司	第10回麻酔科学サマーセミナー	2013.6.28-30
3	気管チューブの種類が最適カフ容量の予測に及ぼす影響	鶴野広大 久場良彦 井戸和己 小林俊司	日本臨床麻酔学会 第33回大会 ポスター演題	2013.11.1-3

## (3) 学術講演

番号整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1	「周術期管理におけるhAMPの真の役割とは！」	笠原正登(京大) 小林俊司(司会)	りんくう総合医療センター	2013.12.10

## (4) 院内研究活動

番号整理	演 題	発 表 者	年 月 日
1	第165回臨床集談会 静脈血栓塞栓症について	長尾典尚	2014.2.27

## 研究業績：診療局 救命診療科

### (1) 原著、総説、著書

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	「循環モニタリングを活用した輸液管理」～SVVとEVLWを組み合わせた呼吸循環管理」	渡部広明	日本蘇生学会雑誌	32	29-35	2013
2	「ショックを伴う多発外傷」	水島靖明 中尾彰大 松岡哲也	救急医学	37(13)	1714-1719	2013
3	「二次医療圏規模で導入した新しい救急医療体制の効果と更なる体制整備に向けた課題」	中尾彰大 川口竜助 水島靖明 松岡哲也	日本臨床救急医学会雑誌	16(6)	817-825	2013
4	「市立病院産婦人科統合運用による広域母子医療センター化に伴う地域の産婦人科救急搬送の変化」	松岡哲也	日本周産期・新生児医学会雑誌	48(4)	922-927	2013
5	外傷外科手術治療戦略(SSTT)コース公式テキストブック	渡部広明 松岡哲也 (編集)				2013
6	「強塩酸内服による腐食性食道・胃・十二指腸損傷」	山本博崇 高橋善明 水島靖明 松岡哲也	日本腹部救急医学会	33(3)	661-665	2013
7	「Abdominal Compartment Syndromeの発症要因と治療法-Vacuum packing closureの有用性-」	山本博崇 渡部広明 水島靖明 松岡哲也	日本腹部救急医学会	33(5)	837-842	2013
8	「敗血症における薬剤開発・臨床試験の実践. 治験デザインの実践事例」	中田孝明 松岡哲也	敗血症の診断/治療の実状と病態・メカニズムをふまえた開発戦略		328-332	2013
9	IABO	布施貴司	今日の治療指針			2014
10	発生区域による鈍的脳血管損傷分類と治療戦略の応用	萩原 靖	日本救急医学会雑誌	24	157-165	2013

### (2) 学会研究会報告

番号整理	演題	発表者	学会・研究会名	年月日
1	後腹膜病変の局在や進展の理解に必須であるretroperitoneal interfascial planes についての発生学的研究	石川和男	第113回日本外科学会総会	2013.4.12
2	Non-responderの体幹部外傷症例に術前CTは必要か?	中尾彰太	第27回日本外傷学会総会・学術集会	2013.5.23
3	外傷患者におけるショック指標として、脈拍数は有用か?	水島靖明	第27回日本外傷学会総会・学術集会	2013.5.24
4	脳挫傷体積とFDP D-dimerの関係 -線溶系亢進に関与する因子について-	萩原 靖	第27回日本外傷学会総会・学術集会	2013.5.23
5	日本における外傷センター要件-当センターにおける「重症外傷センター」の現状-	渡部広明	第27回日本外傷学会総会・学術集会	2013.5.23
6	腓損傷の新たな治療戦略-腓外傷におけるstaged surgeryの積極的応用」	布施貴司	第27回日本外傷学会総会・学術集会	2013.5.23
7	蘇生に必要な戦略	渡部広明	第27回日本外傷学会総会・学術集会	2013.5.24
8	この症例はなぜ搬送先選定が困難だったのか? ～選定困難例の発生状況を圏域全体で共有する体制整備の試み～	中尾彰太	第16回日本臨床救急医学会	2013.7.12
9	重症外傷患者の治療戦略におけるIVRの役割	水島靖明	第16回日本臨床救急医学会	2013.7.12
10	外傷症例の腹部CTにおけるcheckmark signの意義	石川和男	第41回日本救急医学会総会	2013.10.21
11	食道損傷に対する治療戦略	布施貴司	第41回日本救急医学会総会	2013.10.21
12	重症頭部外傷患者におけるICPモニタリング:開頭例、非開頭例の特徴について	萩原 靖	第41回日本救急医学会総会	2013.10.21
13	Primary surveyでのCT施行の是非を問う ～Non-responderの鈍的体幹部外傷症例に術前CTは必要か?～	中尾彰太	第41回日本救急医学会総会	2013.10.22
14	FLUID RESUSCITATION OF TRAUMA PATIENTS: HOW FAST AND HOW MUCH?	水島靖明	第7回ACEM	2013.10.24

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 ・ 研 究 会 名	年 月 日
15	THORACOTOMY FOR BLUNT CHEST TRAUMA: ARE THE TRADITIONAL CRITERIA OF CHEST TUBE OUTPUT USEFUL?	水島靖明	第7回ACEM	2013.10.25
16	A REPORT ON THE SURGICAL STRATEGY AND TREATMENT FOR TRAUMA (SSTT) COURSE FOR TRAUMA SURGEONS, NURSE, AND TEAMS	渡部広明	第37回ACEM	2013.10.25
17	SSTTコースの有用性と問題点ー受講生の視点からのSSTTコースー	成田麻衣子	第5回日本Acute Care Surgery学会	2013.11.10
18	SSTT座学1日コースの教育的効果	渡部広明	第5回日本Acute Care Surgery学会	2013.11.10
19	重症外傷症例に対するドクターカー覚知同時要請システム運用の試み	中尾彰太	第8回日本病院前救急診療医学会総会・学術集会	2013.12.6
20	体幹由来のD-dimer上昇が頭部外傷に与える影響	萩原 靖	第19回日本脳神経外科救急学会総会	2014.1.10
21	Acute Care SurgeryにおけるSurgical Critical Care ～Stroke volume variation (SVV)を用いた循環管理の有用性～	渡部広明	第18回エンドトキシン血症救命治療研究会	2014.1.17
22	泉州地域における 複数傷病者事案の実状ーpre hospitalの対応の検討ー	成田麻衣子	第19回日本集団災害学会	2014.2.26
23	外傷外科における手術治療戦略 ～ダメージコントロール手術を成功させるためには～	渡部広明	浜松外科医会	2014.1.21
24	重症臍頭部十二指腸損傷におけるダメージコントロール手術 ～ダメージコントロール戦略としての二次的臍頭十二指腸切除術～	渡部広明	第50回日本腹部救急医学会総会	2014.3.7
25	重症体幹部外傷症例においてopen abdomen managementが長期化する危険因子は何か？	中尾彰太	第50回日本腹部救急医学会総会	2014.3.6

### (3) 学術講演

番号整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1	消防法改正の効果と課題 泉州地域の取り組みについて	中尾彰太	第119回近畿救急医学研究会救急隊員部会	2013.5.17
2	小児重症肝損傷に対するDamage Control Suggwry(DCS)	渡部広明	第50回日本小児外科学会	2013.5.30
3	acute Care Surgeryとは何か？ー救急領域と外科の融合した新たな領域ー	渡部広明	大分救急医学会	2013.8.25
4	小児重症腹部外傷の治療戦略ー重症腹部外傷治療の最前線ー	渡部広明	静岡県立こども病院	2013
5	外傷外科における手術戦略ーダメージコントロール手術を成功させるためにはー	渡部広明	浜松外科医会	2013.1.21
6	重症外傷患者救命のためのトレーニング-off the job trainingにおける人材育成ー	渡部広明	第53回中部防衛衛生学会	2014.3.13
7	外傷性脳血管損傷の診断と治療(若手教育セミナー)	萩原 靖	第37回日本脳神経外傷学会	2014.3.18

## 研究業績：診療局 国際診療科

### (1) 原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	りんくう総合医療センターのJMIP認証	南谷かおり	病院/医学書院	8月号	656-657	2013
2	病院における医療通訳士の役割	南谷かおり	医療通訳士という仕事ーことばと文化の壁をこえてー	単行	61-68	2013



(2) 学会研究会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会・研 究 会 名	年 月 日
1	医療通訳	南谷かおり (座長)	第27回びわ湖国際医療フォーラム	2013.7.7
2	外国人患者受け入れ医療機関認証制度(JMIP)を受審して	木村ガーリー	第27回びわ湖国際医療フォーラム	2013.7.7
3	医療通訳の未来像	南谷かおり	医療通訳士協議会JAMI総会	2013.7.20
4	JMIP取得と病院の方向性	南谷かおり	第51回日本医療・病院管理学会	2013.9.28
5	医療の国際化と医療通訳の人材育成	南谷かおり	第22回大阪大学医工情報連携シンポジウム	2013.12.7
6	国際医療支援	南谷かおり (座長)	第28回 びわ湖国際医療フォーラム	2014.1.25
7	国際医療の実情	南谷かおり	大阪大学 国際医療シンポジウム Go Global!!2	2014.3.10

(3) 学術講演

番号整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1	りんくう総合医療センターにおける医療通訳システム	南谷かおり	関西国際保険勉強会6月定期 ぼちぼちの会	2013.6.28
2	りんくう総合医療センターにおける外国人診療	南谷かおり	医療通訳士協議会(JAMI)第6回総会	2013.7.13
3	りんくう総合医療センターにおける外国人診療	南谷かおり	第118回阪大病院フォーラム 大阪大学医学部附属病院における 医療のグローバル化	2013.7.31
4	病院における医療通訳	南谷かおり	岡山国際交流センター 多文化共生コミュニケーションサポーター研修会	2013.11.2
5	認定医療機関の取り組み事例【JMIP】	南谷 かおり	JMIP推進事業ワークショップ 【大阪会場】	2013.11.7
6	認定医療機関の取り組み事例【JMIP】	南谷 かおり	JMIP推進事業ワークショップ 【名古屋会場】	2013.11.19
7	医療通訳の取り組みと展望	南谷かおり	平成25年度国際交流人材養成講座 (大阪国際交流センター主催)	2014.1.16

(4) 講義

番号整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1	医療の国際化	南谷かおり	大阪大学中ノ島センター 関西6大学連携社会教育プログラム	2013.8.23
2	病院における医療通訳の役割	南谷かおり	大阪大学大学院 高度副プログラム「医療通訳とコミュニティ」	2013.11.14
3	医療通訳現場における事例	南谷かおり	大阪大学大学院 高度副プログラム「医療通訳とコミュニティ」	2014.1.16

(5) メディア紹介

番号整理	演 題	種 類	年 月 日
1	〈臨空総合医療中心〉 大阪南部健康行	GOLF MAGAZINE(中国)	2014. 3

**研究業績：診療局 薬剤科**

(1) 原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	薬物療法への介入に向けた処方入力支援	森朝紀文	月刊薬事	第55巻 第6号	71(971)– 75(975)	2013.6
2	薬剤師にはマネジメント能力が必要	森朝紀文	O.H.P.news	Vol.55 No.7	1	2013.7.15
3	ファーマシーマネジメントの実践	森朝紀文	全国自治体病院協議会雑誌	第53巻 第3号	80–82	2014.3



## (2) 学会研究会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 ・ 研 究 会 名	年 月 日
1	救命救急センターにおける薬剤師による副作用調査(3)	丸田栄一	第23回日本医療薬学会年会	2013.9.21
2	当院における感染性心内膜炎に対するゲンタマイシン使用と腎障害の検討	北島正大	第29回日本環境感染学会総会・学術集会	2014.2.14
3	メロペネム使用適正化に向けての投与状況の把握と検討	泉原里絵	第29回日本環境感染学会総会・学術集会	2014.2.14

## (3) 学術講演

番号整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1	循環器病棟における病棟薬剤業務	森朝紀文	第12回泉州循環器カンファレンス	2013.8.31
2	脳外科病棟における病棟薬剤業務	森朝紀文	第9回南泉州脳卒中診療研究会	2014.2.15
3	抗菌薬の適正使用	森朝紀文	第32回南大阪呼吸器レクチャー	2014.2.20
4	くすりを安全に使用するために	森朝紀文	一般社団法人りんくう国際医療通訳翻訳協会(IMEDIATA) 「医療現場を知ろう！」ワークショップ	2014.3.2

## (4) 院内研究活動

番号整理	演 題	発 表 者	年 月 日
1	市民健康講座「お薬を安全に使用するために」	森朝紀文	2013.11.16
2	医療安全講習会「医薬品の安全管理」	森朝紀文	2014.1.31

## 研究業績：診療局 放射線技術科

## (1) 原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	外傷診断における画像診断と治療(診療放射線技師からのアドバイス)	坂下恵治 相良健司 西池成章 藤村一郎 松岡哲也	月刊レジデント	6(5)	93-97	2013
2	救急医療現場における読影補助と診療放射線技師の役割について	坂下恵治	INNERVISION	28(7)	63-65	2013
3	マルチ周波数処理	西池成章	FCR超基礎講座 医療科学社		93~107	2013
4	救急検査認定技師に必要な画像検査の知識	坂下恵治	救急検査指針	初版	215-222	2013
5	救急診療における読影の補助と職業倫理	坂下恵治	Emergency Imaging	8	2	2013
6	救命救急センターにおける腹部・骨盤のIVR	相良健司 西池成章 藤村一郎 坂下恵治	映像情報Medical	45(11)	894-897	2013
7	可搬媒体の運用に関する諸問題(エバンジェリストが教える最新医療情報)	小西康彦	日本診療放射線技師 会雑誌	60(10)	45-51	2013
8	救急医療における撮影と読影 画像構築と読影の実際	坂下恵治	日本診療放射線技師 会雑誌	60(11)	1433-37	2013
9	図解診療放射線技術実践ガイド	坂下恵治 相良健司 西池成章 藤村一郎	文光堂	第3版	465-479	2014
10	放射線画像技術学	坂下恵治	医歯薬出版株式会社	初版	17-39	2014

## (2) 学会研究会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 ・ 研 究 会 名	年 月 日
1	CT Dose reduction Technique (pediatric) (chairman)	西池成章	第69回日本放射線技術学会 総会・学術大会	2013.4.11
2	技術活用セミナー8 日本救急撮影技師認定機構の活動内容と方針	坂下恵治	第69回日本放射線技術学会 総会・学術大会	2013.4.13
3	シンポジウム「救急放射線技術の最前線」(座長)	坂下恵治	第16回日本臨床救急医学会 総会・学術集会	2013.7.12

番号 整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
4	救急腹部CT画像のためのコンピュータ支援診断システムの開発	原 武史 坂下恵治 周 向荣 村松千左子 山口由津穂 藤田広志	医用画像研究会	2013.7.19
5	パネルディスカッション「外傷診療の画像診断と読影の実際」(座長)	坂下恵治	日本診療放射線技師会読影分科会 第2回読影セミナー	2013.7.20
6	放射線情報システムの機能(座長)	小西康彦	日本医用画像管理学会平成25年度 第2回学術大会	2013.9.21
7	救急医療における撮影と読影 ー画像構築と読影の実際ー	坂下恵治 相良健司 西池成章 藤村一郎	第29回日本診療放射線技師学術大会	2013.9.22
8	可変ヘリカルピッチ CT検査(座長)	西池成章	日本放射線技術学会 第41回秋季学術大会	2013.10.17
9	救急医療における頭部CT画像上の脳梗塞に関するCADの評価	山口由津穂 原 武史 坂下恵治 周 向荣 村松千左子 藤田広志	平成25年度日本生体医工学会東海支部学術集会	2013.10.19
10	PD / Evaluation of helical scan mode for non-contrast head computed tomography on head injury	Ichiro Fujimura, Shigeaki Nishiike, Kenji Sagara, Keiji Sakashita, Tetsuya Matsuoka	The 7th Conference on Emergency Medicine 2013	2013.10.25
11	PD / Consideration the image diagnosis by CAD and RT in the emergency medicine	Keiji Sakashita, Kenji Sagara, Shigeaki Nishiike, Ichiro Fujimura, Tetsuya Matsuoka	The 7th Asian Conference on Emergency Medicine 2013	2013.10.25
12	シンポジウム「今から出来る読影補助」	坂下恵治	第6回中部放射線医療技術学術大会	2013.11.9
13	パネルディスカッション「救急診療における読影の実際」(座長)	坂下恵治	日本診療放射線技師会読影分科会 第3回読影セミナー	2014.01.19
14	救急放射線技術の最前線	坂下恵治	愛知災害・救急撮影研究会	2014.1.26
15	シンポジウム「読影の補助のスキルアップに向けての取り組み」	坂下恵治	(公社)福島県放射線技師会学術大会	2014.2.2
16	パネルディスカッション「急性期疾患と読影の補助」(座長)	坂下恵治	近畿地域放射線技師学術大会	2014.2.16
17	シンポジウム「実践救急における読影の補助」(座長)	坂下恵治	平成25年度公益社団法人大阪府放射線技師会学術セミナー	2014.3.8
18	シンポジウム「実践 救急における読影の補助」救急CTの読み方	藤村一郎	大阪府放射線技師学術セミナー	2014.3.9

### (3) 学術講演

番号 整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1	救命医療におけるフィルムレス環境の構築とその運用	坂下恵治	第8回EIZOメディカルセミナー2013 (東京)	2013.5.18
2	救急画像診断の変遷と放射線技術～これから私たちが担うこと～	坂下恵治	第1回Tokyo ER Meeting (東京)	2013.6.1
3	外傷患者診療における撮影技術	坂下恵治	日本放射線技術学会第5回救急撮影セミナー (岡山)	2013.6.9
4	救急診療におけるCTの重要性を考える	坂下恵治	日本放射線技術学会関東部会 平成25年度 第2回CTGUMセミナー (茨城)	2013.6.23
5	頭部単純CT～コンベとヘリカルと比較～	藤村一郎	第3回関西東芝CTユーザー会 (大阪)	2013.7.6
6	救急診療における救急撮影認定技師の役割	坂下恵治	宮崎放射線技術研究会 (宮崎)	2013.7.6
7	救急撮影技師に必要な基礎知識	藤村一郎	第16回日本臨床救急医学会 全国学術集会 (東京)	2013.7.13

番号整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
8	救急撮影における一般撮影の撮影条件と画像処理に関するWG活動報告	西池成章	第7回救急撮影セミナー	2013.8.24
9	今日の救急医療における診療放射線技師の役割	坂下恵治	東北CT研究会 (新潟)	2013.9.14
10	外傷全身CT撮影の技術的検証	藤村一郎	第29回日本診療放射線技師会全国学術大会 (島根)	2013.9.22
11	内因性疾患患者の診療における撮影技術	坂下恵治	日本放射線技術学会第6回救急撮影セミナー (埼玉)	2013.9.29
12	頭部単純CTにおけるヘリカルとノンヘリカルの画像特性	藤村一郎	第26回滋賀県放射線技師会 CT研究会 (滋賀)	2013.10.22
13	今日の救急診療とCTの適応および撮影技術	坂下恵治	青森CTMRI研究会 (青森)	2013.10.26
14	外傷診療におけるCT撮影技術	藤村一郎	大阪市勤務放射線技師会第92回学術講演会 (大阪)	2013.11.6
15	救急診療における放射線撮影と読影の補助	坂下恵治	高度急性期医療を支援する医療人教育モデル 文部科学省(広島大学)	2013.11.8
16	診療放射線技師による読影の補助	坂下恵治	鹿児島県放射線技師会学術大会 特別講演 (鹿児島)	2013.11.16
17	可搬媒体運用	小西康彦	医用画像管理セミナー in 沖縄 (沖縄)	2013.11.16
18	救急診療における一般撮影の重要性	坂下恵治	日本放射線技術学会東京部会 一般撮影セミナー (東京)	2013.11.17
19	マルチ周波数処理	西池成章	近畿部会 平成25年度 画像処理セミナー	2013.11.24
20	外傷診療におけるCT撮影技術	藤村一郎	田辺地区放射線科技師勉強会 (和歌山)	2013.11.29
21	救命医療におけるフィルムレス環境の構築とその運用	坂下恵治	第9回EIZOメディカルセミナー2013 (広島)	2013.11.30
22	今日の救急医療とそこに用いる撮影技術	坂下恵治	兵庫画像診断セミナー 特別講演1 (神戸)	2013.12.14
23	放射線診療において診療放射線技師に望むこと	坂下恵治	大阪先端画像医学研究機構第4回定期講演会 (大阪)	2013.12.21
24	心臓CTの基礎	中平修司	公益社団法人日本診療放射線技師会基礎技術講習 (和歌山)	2014.1.12
25	可搬媒体運用について	小西康彦	第6回フィルムレスセミナー (東京)	2014.1.12
26	救命医療施設における読影の補助の実際(三次救急医療施設)	相良健司	読影分科会主催 第3回 読影セミナー (大阪)	2014.1.19
27	救急放射線技術と読影の補助	坂下恵治	愛媛県放射線技師会学術大会 特別講演 (松山)	2014.1.25
28	救急放射線技術と読影の補助について	坂下恵治	公益社団法人日本放射線技術学会近畿部会学術大会 ランチョンセミナー(大津)	2014.1.26
29	心臓CTの基礎	中平修司	日本心血管インターベンション治療学会近畿地方会 (大阪)	2014.2.1

番号整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
30	これからの救急撮影と救急撮影認定技師の役割	坂下恵治	日本救急撮影技師認定機構 救急撮影講習会(九州) (福岡)	2014.2.8
31	放射線検査について	池本達彦	りんくう国際医療通訳本薬協会講演会 (大阪)	2014.2.16
32	業務調整員って何？ DMAT活動のご紹介	相良健司	平成25年度大阪府放射線技師会組織 部研修会 (大阪)	2014.3.1
33	救急医療の一次読影	坂下恵治	静岡東部マネージメントセミナー (静岡)	2014.3.2
34	救急放射線技術と読影の補助について	坂下恵治	(公社)兵庫県診療放射線技師会西播 学術講演会 (姫路)	2014.3.8
35	可搬媒体運用(リスク管理)	小西康彦	第2回医療情報システム全国合同研究 会研究会 (広島)	2014.3.9

#### (4) 院内研究活動

番号整理	演 題	発 表 者	年 月 日
1	読影の補助について	坂下恵治	2013.5.21
2	Retina displayと医用画像モニタについて	坂下恵治	2013.6.11
3	F-RIS内データの抽出について	早川治男	2013.7.9
4	FACTについて	池本達彦	2013.7.17
5	悪性疾患の検査について(1)	坂下恵治	2013.7.23
6	漏洩線量の測定について	増田慎吾	2013.7.30
7	悪性疾患の検査について(2)	坂下恵治	2013.8.7
8	出血に対するCT撮影技術 ～腹部・骨盤領域～	西池成章	2013.8.27
9	意識障害について(1)	坂下恵治	2013.8.28
10	意識障害について(2)	坂下恵治	2013.9.10
11	感染症センターについて	飯塚明寿	2013.9.18
12	出血に対するCT撮影技術 ～腹部・骨盤領域～	西池成章	2013.9.24
13	意識障害について(3)	坂下恵治	2013.10.9
14	災害支援病院に関する知識	相良健司	2013.10.22
15	最新情報(第106回医学物理学会より)	前田直子	2013.10.24
16	IgG4関連疾患(第49回日本医学放射線学会より)	常玄大輔	2013.10.30
17	フィジカルアセスメント(1)	坂下恵治	2013.11.5
18	停電時の対応方法(MRI編)	常玄大輔	2013.11.13
19	フィジカルアセスメント(2)	坂下恵治	2013.11.14
20	災害支援病院に関する知識と緊急被ばく医療について	相良健司	2013.11.26
21	フィジカルアセスメント(3)	坂下恵治	2013.12.2
22	頭頸部癌と分子標的薬	前田直子	2013.12.13
23	フィジカルアセスメント(4)	坂下恵治	2013.12.17
24	報告(コミュニケーションと接遇)	長谷川勝俊	2013.12.17
25	外傷全身CT撮影について 第1回	藤村一郎	2013.12.24
26	X-ray gridについて	坂下恵治	2014.1.10
27	外傷全身CT撮影について 第2回	藤村一郎	2014.1.28
28	救急撮影(頭部MR検査)について	常玄大輔	2014.2.25
29	フィジカルアセスメント(6)	坂下恵治	2014.3.11

## 研究業績：診療局 臨床工学科

### (1) 学会研究会報告

番号 整理	演 題	発 表 者	学 会・研究会名	年 月 日
1	パネリスト	中谷暁洋	セントジュード・メディカル社 Safety meeting 2013(大阪)	2013.10.5

### (2) 学術講演

番号 整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1	当院での心臓血管外科症例におけるEV1000 モニターの使用経験	中谷暁洋	兵庫県臨床工学技士会 第34回定期学習会(兵庫県)	2013.9.8

## 研究業績：チーム医療 NST回診(NST運営委員会)

### (1) 学会研究会報告

番号 整理	演 題	発 表 者	学 会・研究会名	年 月 日
1	消化器癌のサポートー栄養・緩和ケア・その他ー	飯干泰彦	第163回泉佐野・泉南薬剤師会合同 勉強会	2014.1.9
2	腸管粘膜防御における粘液層の重要性	飯干泰彦	第18回泉州地区NST研究会	2014.3.1

### (2) 学術講演

番号 整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1	アミノ酸の分子標的mTORシグナルを活性化する アミノ酸、ジペプチド	飯干泰彦 他	第50回日本外科代謝栄養学会	2013.7.4-5

## 研究業績：共同運営部門 中央検査部

### (1) 原著、総説、著書

番号 整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	特集:第34回緊急検査研究会:今一度災害 医療を考える東北大震災、報道機関の過ち ～過去・現在・未来、情報伝達の重要性～	福田篤久	医療と検査機器・試薬	36(4)	497-508	2013
2	救急医療現状における臨床検査技師の貢献 ～特に簡易迅速検査を中心に～	福田篤久	医療と検査機器・試薬	36(6)	765-771	2013
3	特集:深刻化する脱法・違法薬物乱用～その 実態・対策から臨床検査まで～臨床現場に おける薬毒物検査の実際	福田篤久	Medical Technology	41(11)	1173-1179	2013
4	特集1:即時検査POCT～方法・検査値判読・ 解釈と注意点～血液ガス分析	福田篤久	救急看護 トリアージの スキル強化	3(5)	20-27	2014
5	特集2:即時検査POCT～方法・検査値判読・ 解釈と注意点～検査技師でなくてもできる薬 毒物検査の実際	久保田芽里	救急看護 トリアージの スキル強化	3(5)	40-45	2014
6	検査技術の新たな展望(2)	福田篤久	生物試料分析	37(2)	107-108	2014
7	POCT更新セミナー:POCT運用の工夫と実 際 1.はじめに	福田篤久	医療と検査機器・試薬	37(3)	305-306	2014

### (2) 学会研究会報告

番号 整理	演 題	発 表 者	学 会・研究会名	年 月 日
1	救急検査認定技師制度の役割と現状につい て	久保田芽里	第52回医学検査学会	2013.5
2	災害対策に向けた検査部の対応を考える	福田篤久	第52回医学検査学会	2013.5
3	意識障害と薬毒物検査	福田篤久	日本救急検査技師認定機構主催 第1回指定講演会	2013.5

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
4	超音波検査が診断に有用であった腸腰筋内血腫の一例	中村雅美	第86回超音波検査学会学術集会	2013.5
5	救急検査認定技師制度の現状と課題(パネルディスカッション)	久保田芽里	第16回日本臨床救急医学会総会	2013.5
6	血液形態学ジュニア鏡検講師	米本隆浩	大阪府臨床検査技師会	2013.5
7	血液形態学ジュニア鏡検講師	米本隆浩	大阪府臨床検査技師会	2013.5
8	血液形態学ジュニア鏡検講師	米本隆浩	大阪府臨床検査技師会	2013.6
9	血液形態学ジュニア鏡検講師	米本隆浩	大阪府臨床検査技師会	2013.6
10	血液形態学ジュニア鏡検講師	米本隆浩	大阪府臨床検査技師会	2013.6
11	血液形態学ジュニア鏡検講師	米本隆浩	大阪府臨床検査技師会	2013.6
12	血球貪食症候群の一例	米本隆浩	大阪府臨床検査技師会南支部自由集会	2013.7
13	RUNX1-RUNX1T1症例	米本隆浩	大阪府臨床検査技師会血液形態学シニア	2013.9
14	救急検査という新しい概念について	福田篤久	第48回日臨技九州支部医学検査学会(ランチョンセミナー)	2013.10
15	血液ガス分析	福田篤久	日本救急検査技師認定機構主催第4回指定講演会	2013.10
16	あんな症例・こんな症例・どんな症例	福田篤久	大臨技主催 第3回緊急検査部会	2013.10
17	救急検査総論「救急医療における検査の流れ」	福田篤久	日本救急検査技師認定機構主催第6回指定講演会	2013.10
18	血管新生阻害薬使用症例における造影超音波検査効果判定の試み	中村雅美	第40回超音波検査学会関西地方会学術集会	2014.11
19	再発葉状腫瘍の一例	中村雅美	東芝メディカルThe best image 画論	2014.12
20	糖尿病診療におけるPOCTの活用「意識障害とPOCT」	福田篤久	第50回POCセミナー	2014.1
21	血液ガスの基礎、データの見方・読み方のポイント	福田篤久	滋賀県臨床検査技師会	2014.1
22	CNL(慢性好中球性白血病)症例	米本隆浩	血液標本検討会	2014.1
23	救急診療における心筋マーカー	福田篤久	第24回生物試料分析科学会年次学術集会	2014.2
24	BCR・ABL1を伴うALL	米本隆浩	検査血液学会冬季セミナー	2014.2
25	カンジダ菌血症に併発した眼内炎の治療とポリコナゾール濃度についての検討	須合恵美	第29回日本環境感染学会	2014.2
26	臨床検査について「検体検査総論」	小島忠義	医療通訳フォローアップセミナー	2014.2
27	臨床検査について「超音波検査」	中村雅美	医療通訳フォローアップセミナー	2014.2

### (3) 院内研究活動

番号整理	演 題	発 表 者	年 月 日
1	院内感染対策研修会「カンジダ菌血症と眼内炎」	須合恵美	2013.6.25 2013.6.28 2013.7.19 2013.7.30
2	各種検査値の評価方法	石田浩美	2013.6.1
3	災害マニュアル「検査科の対応について」	石田浩美	2014.1.31
4	各種検査値の評価方法	石田浩美	2014.2.1
5	周産期心筋症の一例	川本英子	2014.2.28
6	「ENOG」って何だろう?	井伊稚佳子	2014.3.28



## 研究業績：共同運営部門 <周産期センター>産科医療センター

### (1) 原著、総説、著書

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	市立病院産婦人科統合運用による広域母子医療センター化に伴う地域の産婦人科救急搬送の変化	福井 温 松岡哲也 荻田和秀 光田信明 長松正章 森重健一郎 木村 正	日本周産期・新生児医学会雑誌	第48巻 第4号	922-927	2013
2	小腸原発転移性卵巣腫瘍の1例	竹田満寿美 宮武 崇 高岡 幸 岡澤美佳 橋本洋之 横井 猛 井阪茂之 長松正章	日本婦人科腫瘍学会雑誌	31(3)	583-588	2013
3	脳転移に対し外科的治療が有効であった卵巣明細胞腺癌の1例	高岡 幸 橋本洋之 徳川睦美 竹田満寿美 宮武 崇 横井 猛 井阪茂之 長松正章	日本婦人科腫瘍学会雑誌	31(3)	589-594	2013
4	子宮頸部高度異形成・上皮内癌(CIN3)に対する円錐切除後の初回健診時期についての検討	徳川睦美 橋本洋之 高岡 幸 竹田満寿美 宮武 崇 横井 猛 井阪茂之 長松正章	産婦人科の進歩	第66巻 1号	6-10	2014
5	A phase II study of combination chemotherapy using docetaxel and irinotecan for TC-refractory or TC-resistant ovarian carcinomas (GOGO-OV2 study) and for primary clear or mucinous ovarian carcinomas(GOGO-OV3 Study)	Ueda Y., Miyatake T., Nagamatsu M., Yamasaki M., Nishio Y., Yoshino K., Fujita M., Tsutsui T.	European Journal of Obstetrics & Gynecology and Reproductive Biology	170	259-263	2013
6	Utility of serum squamous cell carcinoma antigen levels at the time of recurrent cervical cancer diagnosis in determining the optimal treatment choice	Shimura K., Mabuchi S., Yokoi T., Sasano T., Sawada K., Hamasaki T., Kimura T.	J Gynecol Oncol	24(4)	321-329	2013
7	A phase I study of concurrent weekly carboplatin and paclitaxel combined with intensity-modulated pelvic radiotherapy as an adjuvant treatment for early-stage cervical cancer patients with positive pelvic lymph nodes	Mabuchi S., Takahashi R., Isohashi F., Yokoi T., Ito K., Tsutui T., Ogata T., Yoshioka Y., Ogawa K., Kimura T.	Int J Gynecol Cancer	23(7)	1279-1286	2013.9
8	Cerebral infarctions as manifestation of ovarian clear cell carcinoma: report of two cases and review of the literature	Naoi H., Hashimoto H., Kajimoto E., Takeda M., Yoshida S., Miyatake T., Yokoi T., Isaka S., Nagamatsu M.	Int Canc Conf J	2	206-210	2013.10

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
9	Reirradiation using high-dose-rate interstitial brachytherapy for locally recurrent cervical cancer: a single institutional experience	Mabuchi S., Takahashi R., Isohashi F., Yokoi T., Okazawa M., Sasano T., Maruoka S., Anzai M., Yoshioka Y., Ogawa K., Kimura T.	Int J Gynecol Cancer	24(1)	141-148	2014.1

(2) 学会研究会報告

番号整理	演題	発表者	学会・研究会名	年月日
1	trachelectomy後、2回目の妊娠管理を要した1症例	吉田 晋 智多昌哉 西川愛子 高尾 幸 徳川睦美 後藤摩耶子 佐藤 敦 福井 温 鹿戸佳代子 荻田和秀 横井 猛	日本産科婦人科学会第65回学術講演会(北海道)	2013.5.10-12
2	緩和治療におけるIVR(Interventional radiology)の有用性について	竹田満寿美 橋本洋之 海野ひかり 山崎瑠璃子 梶本恵津子 釣谷香揚子 宮武 崇 三村真由子 横井 猛 井坂茂之 荻田和秀 長松正章	日本産科婦人科学会第65回学術講演会(北海道)	2013.5.10-12
3	婦人科手術における傍大動脈リンパ節郭清術後のイレウスに関する検討	梶本恵津子 橋本洋之 海野ひかり 山崎瑠璃子 竹田満寿美 宮武 崇 三村真由子 井坂茂之 横井 猛 荻田和秀 長松正章	日本産科婦人科学会第65回学術講演会(北海道)	2013.5.10-12
4	当センターにおける過去5年間の子宮腔内への止血バルーン使用症例22症例の検討	智多昌哉 西川愛子 高岡 幸 徳川睦美 後藤摩耶子 吉田 晋 佐藤 敦 鹿戸佳代子 福井 温 長松正章 荻田和秀	日本産科婦人科学会第65回学術講演会(北海道)	2013.5.10-12
5	当センターにおける過去5年間の子宮内胎児死亡症例30例の検討	高岡 幸 西川愛子 智多昌哉 徳川睦美 後藤摩耶子 吉田 晋 佐藤 敦 鹿戸佳代子 福井 温 長松正章 荻田和秀	日本産科婦人科学会第65回学術講演会(北海道)	2013.5.10-12
6	当院における帝王切開時の止血縫合の検討	徳川睦美 佐藤 敦 西川愛子 智多昌哉 高岡 幸 吉田 晋 福井 温 鹿戸佳代子 横井 猛 長松正章 荻田和秀	日本産科婦人科学会第65回学術講演会(北海道)	2013.5.10-12
7	当施設における分娩後の胎盤遺残28例を用いた予測因子の検討	直居裕和 荻田和秀 熊澤恵一 西川愛子 吉田 晋 福井 温 佐藤 敦 鹿戸佳代子 木村 正	日本産科婦人科学会第65回学術講演会(北海道)	2013.5.10-12



番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
8	当院における膣式子宮全摘と腹腔鏡下子宮全摘・腹腔鏡補助下膣式子宮全摘術での手術侵襲に対する比較検討	海野ひかり 橋本洋之 山崎瑠璃子 梶本恵津子 竹田満寿美 釣谷香揚子 横井 猛 井阪茂之 荻田和秀 長松正章	日本産科婦人科学会第65回学術講演会(北海道)	2013.5.10-12
9	妊娠中期に自然流産に至った慢性早剥の2例	高岡 幸 西川愛子 智多昌哉 徳川睦美 後藤摩耶子 吉田 晋 佐藤 敦 鹿戸佳代子 福井 温 長松正章 荻田和秀	第128回近畿産科婦人科学会学術集会(滋賀)	2013.6.15-16
10	当センターでの2012年度の産婦人科症例における輸血の検討	海野ひかり 後藤摩耶子 山崎瑠璃子 梶本恵津子 吉田 晋 佐藤 敦 鹿戸佳代子 福井 温 井阪茂之 横井 猛 長松正章 荻田和秀	第128回近畿産科婦人科学会学術集会(滋賀)	2013.6.15-16
11	周産期における救急疾患の理解と初期対応	荻田和秀	日総研セミナー(東京)	2013.6.2
12	陣痛発来にて救急搬送された胎状奇胎の1例	山崎瑠璃子 佐藤 敦 海野ひかり 梶本恵津子 後藤摩耶子 吉田 晋 鹿戸佳代子 福井 温 井阪茂之 横井 猛 長松正章 荻田和秀	第128回近畿産科婦人科学会学術集会(滋賀)	2013.6.15-16
13	子宮筋腫核出術後の子宮動脈瘻の1例	智多昌哉 西川愛子 徳川睦美 高岡 幸 竹田満寿美 宮武 崇 三村真由子 橋本洋之 井阪茂之 荻田和秀 横井 猛 長松正章	第128回近畿産科婦人科学会学術集会(滋賀)	2013.6.15-16
14	IVF後に内膜症性嚢胞への感染を来した重症骨盤腹膜炎の1例	西川愛子 智多昌哉 徳川睦美 高岡 幸 竹田満寿美 宮武 崇 三村真由子 橋本洋之 井阪茂之 荻田和秀 横井 猛 長松正章	第128回近畿産科婦人科学会学術集会(滋賀)	2013.6.15-16
15	帝王切開時に行った止血縫合後の予後	梶本恵津子 海野ひかり 山崎瑠璃子 後藤摩耶子 吉田 晋 佐藤 敦 福井 温 鹿戸佳代子 荻田和秀 井阪茂之 横井 猛 長松正章	第128回近畿産科婦人科学会学術集会(滋賀)	2013.6.15-16
16	当院における社会的リスク(Socio-Economical risk:SER)を伴った妊産婦の状況:第2報	梶本恵津子 後藤摩耶子 吉田 晋 佐藤 敦 福井 温 鹿戸佳代子 荻田和秀 横井 猛 長松正章	第49回日本周産期・新生児医学会(横浜)	2013.7.14-16
17	周産期センターにて分娩した患者を対象とした市立病院産婦人科統合運用に関するアンケート調査	福井 温 荻田和秀 光田信明 長松正章 森重健一郎 木村 正	第49回日本周産期・新生児医学会(横浜)	2013.7.14-16
18	待機的管理を行った胎盤遺残に関する予後の検討	西川愛子 直居裕和 徳川睦美 高岡 幸 後藤摩耶子 吉田 晋 佐藤 敦 福井 温 鹿戸佳代子 長松正章 荻田和秀	第49回日本周産期・新生児医学会(横浜)	2013.7.14-16

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
19	当院で経験した慢性早剥・CAOSが疑われた6例の検討	高岡 幸 西川愛子 徳川睦美 後藤摩耶子 吉田 晋 佐藤 敦 鹿戸佳代子 福井 温 長松正章 萩田和秀	第49回日本周産期・新生児医学会 (横浜)	2013.7.14-16
20	当院における再発卵巣癌の治療に関する奏効率の検討	西川愛子 智多昌哉 高岡 幸 徳川睦美 竹田満寿美 宮武 崇 橋本洋之 井阪茂之 横井 猛 長松正章	第54回特定非営利活動法人日本 婦人科腫瘍学会学術講演(東京)	2013.7.19-21
21	卵巣悪性腫瘍が疑われた卵巣硬化性間質性腫瘍の1症例	竹田満寿美 宮武 崇 西川愛子 智多昌哉 高岡 幸 徳川睦美 橋本洋之 横井 猛 井阪茂之 長松正章	第54回特定非営利活動法人日本 婦人科腫瘍学会学術講演(東京)	2013.7.19-21
22	当院における子宮体癌と卵巣癌との重複癌の後方視的検討	智多昌哉 西川愛子 高岡 幸 徳川睦美 竹田満寿美 宮武 崇 橋本洋之 井阪茂之 横井 猛 長松正章	第54回特定非営利活動法人日本 婦人科腫瘍学会学術講演(東京)	2013.7.19-21
23	卵巣癌と鑑別に苦慮した悪性腹膜中皮腫の一例	横井 猛 高岡 幸 西川愛子 智多昌哉 徳川睦美 竹田満寿美 宮武 崇 橋本洋之 井阪茂之 長松正章	第54回特定非営利活動法人日本 婦人科腫瘍学会学術講演(東京)	2013.7.19-21
24	周産期における救急疾患の理解と初期対応	萩田和秀	日総研セミナー(大阪)	2013.8.18
25	Herlyn-werner症候群に対して腹腔鏡下患側子宮摘出術を施行した1症例	串本卓哉 橋村茉莉子 海野ひかり 山崎瑠璃子 竹田満寿美 三好 愛 宮武 崇 三村真由子 井阪茂之 萩田和秀 長松正章 横井 猛	第53回日本産科婦人科内視鏡学 会学術講演会(名古屋)	2013.9.5-7
26	腹腔鏡下で治療し胃癌卵巣転移と診断された1例	橋村茉莉子	泉州広域母子医療センター特別講 演会(大阪)	2013.9.7
27	風邪症状から短時間に母体死亡に至った1例	甲村奈緒子	泉州広域母子医療センター特別講 演会(大阪)	2013.9.7
28	検診にて発見された術後子宮動静脈瘻の1例	智多昌哉	第6回南大阪産婦人科臨床懇話会 (大阪)	2013.9.28
29	妊娠高血圧症候群様の所見を呈した胞状奇胎の1例	山崎瑠璃子 佐藤 敦 海野ひかり 梶本恵津子 後藤摩耶子 吉田 晋 鹿戸佳代子 福井 温 長松正章 萩田正秀	第34回日本妊娠高血圧学会(富 山)	2013.10.4-5
30	産婦人科重症患者への取り組み—産婦人科と救命センターの連携—	後藤摩耶子 福井 温 萩田和秀 松岡哲也 井戸口孝二	第41回日本救急医学会総会(東 京)	2013.10.21-23
31	当院で経験した子宮癌肉腫症例についての後方視的検討	山崎瑠璃子	第51回日本癌治療学会学術集会 (京都)	2013.10.24-26
32	大量出血を来たし、治療に難渋した外国人患者の1例	西川愛子 甲村奈緒子 澤田真明 智多昌哉 後藤摩耶子 張 良実 吉田 晋 佐藤 敦 福井 温 鹿戸佳代子 萩田和秀	第25回平地会臨床懇話会(大阪)	2013.11.9

番号 整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
33	当院で経験した子宮頸癌合併妊娠の4例	橋村茉莉子 海野ひかり 山崎瑠璃子 串本卓哉 竹田満寿美 三好 愛 宮武 崇 三村真由子 荻田和秀 横井 猛 長松正章	第129回近畿産科婦人科学会学術 集会(大阪)	2013.11.10
34	帝王切開時における子宮体部への予防的 止血縫合に関する検討	澤田真明 佐藤 敦 西川愛子 智多昌哉 甲村奈緒子 後藤摩耶子 張 良実 吉田 晋 福井 温 鹿戸佳代子 横井 猛 荻田和秀	第129回近畿産科婦人科学会学術 集会(大阪)	2013.11.10
35	大阪における最近の妊産婦死亡について	荻田和秀	平成25年日本産婦人科医会近畿 ブロック協議会(滋賀)	2014.1.19
36	周産期救急ーそこにある危機をのりこえるた めにー	荻田和秀	大阪産婦人科 Young Seminar(大 阪)	2014.1.25
37	感冒症から短時間に母体死亡に至った症 例	甲村奈緒子 澤田真明 西川愛子 智多昌哉 後藤摩耶子 張 良実 吉田 晋 佐藤 敦 福井 温 鹿戸佳代子 荻田和秀	平成25年度OGCS症例検討会(大 阪)	2014.3.8
38	瘢痕部妊娠にて子宮全摘となった一例	串本卓哉	第10回泉州広域母子医療センター 症例検討会(大阪)	2014.3.29
39	当院での救命センターとの連携症例の検討	橋村茉莉子	第10回泉州広域母子医療センター 症例検討会(大阪)	2014.3.29
40	低用量ピル内服中に妊娠した一例	甲村奈緒子	第10回泉州広域母子医療センター 症例検討会(大阪)	2014.3.29
41	妊娠中に治療した卵巣腫瘍について	澤田真明	第10回泉州広域母子医療センター 症例検討会(大阪)	2014.3.29

## 研究業績：共同運営部門 <周産期センター>新生児医療センター

### (1) 原著、総説、著書

番号 整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	呼吸器系の適応生理 自発呼吸のスイッチが 入るには?	和田芳郎	Neonatal Care	26(6)	568	2013

### (2) 学会研究会発表

番号 整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1	晩期循環不全発症前のバイタルサインについ での検討	和田芳郎 竹村 亮 山本真也 竹中朋代 今西洋介 山本昌周 住田 裕	第294回NMCS例会 (大阪市)	2013.10.18
2	晩期循環不全発症前のバイタルサインについ での検討(第1報)	和田芳郎 竹中朋代 今西洋介 山本昌周 住田 裕	第58回日本未熟児新生児学会 (金沢市)	2013.12.2
3	晩期循環不全発症前のバイタルサインについ での検討(第2報) ー脳室周囲白質軟化症発症例と非発症例で の検討ー	和田芳郎 竹中朋代 今西洋介 山本昌周 住田 裕	第58回日本未熟児新生児学会 (金沢市)	2013.12.2

## 研究業績：共同運営部門 リハビリテーションセンター

### (1) 原著、総説、著書

番号	整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1		Application of ISO-based posture measurement system "RYSIS" to clinical gait assessment	藤野文崇	大阪河崎リハビリテーション大学紀要	8(1)	17-27	2013
2		レッドコードを介した振動刺激の特徴～小型加速度計を用いて～	藤野文崇	Redcord Science	2	36-40	2014
3		THA術患者における歩行時の股関節伸展能力とCS-10とTUGの関係	藤野文崇	近畿理学療法学会誌	43		2014

### (2) 学会研究会発表

番号	整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1		Rysis AngleとGate Judgeを用いた歩行評価の理学療法への応用	藤野文崇	リハビリテーション工学カンファレンス 盛岡	2013.8.22-24
2		What is the observational predictor for motor functional capability during post-operative phase of THA patient?	藤野文崇	アジア理学療法学会大会 台湾	2013.9.6-8
3		糖尿病患者さんの運動療法	河野真也	泉州糖尿病フォーラム	2013.11.3
4		THA術患者における歩行時の股関節伸展能力とCS-10とTUGの関係	藤野文崇	近畿理学療法学会大会 京都	2013.11.3
5		急性期運動失調症例に対するRedcord Exerciseを用いた理学療法の経験	大野直紀	リハビリテーションケア合同研究大会 千葉2013	2013.11.22
6		特発性正常圧水頭症 (INPH) 患者に対する術後リハビリテーション効果の検討	藤野文崇	リハビリテーションケア合同研究大会 千葉2013	2013.11.22
7		脊椎に多発骨転移を認めた症例に対するレッドコードエクササイズの効果	藤野文崇	日本レッドコード研究会学会大会 北海道	2014.1.26

### (3) 学術講演

番号	整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1		脳卒中片麻痺患者に対するPNFアプローチ	藤野文崇	徳島PNF研究会 鴨島整形外科 理学療法士、作業療法士	2013.8.4
2		Klein-Vogelbachの運動学に基づく運動療法～基礎編～	藤野文崇	大阪河崎リハビリテーション大学 理学療法士	2013.7.18
3		Klein-Vogelbachの運動学に基づく運動療法～臨床編～	藤野文崇	大阪河崎リハビリテーション大学 理学療法士	2013.7.25
4		片麻痺の病態解釈と	小西勇亮	大阪河崎リハビリテーション大学 理学療法科 学生	2013.11.9
5		臨床における思考過程	小西勇亮	大阪河崎リハビリテーション大学 理学療法科 学生	2013.11.9
6		片麻痺の病態解釈とポジショニングについて	小西勇亮	当院5海病棟 看護師	2014.2.
7		運動療法のリスク管理 ー内部障害を中心に	宮本誠一郎	大阪河崎リハビリテーション大学 理学療法士	2013.11.21
8		運動療法のリスク管理 ー内部障害を中心に	宮本誠一郎	大阪河崎リハビリテーション大学 理学療法士	2013.11.28
9		運動療法のリスク管理	宮本誠一郎	大阪河崎リハビリテーション大学 理学療法士	2014.3.5

(4) 院内研究活動

番号整理	演 題	発 表 者	年 月 日
1	新人看護師向け移乗ポジショニング講習会	藤田将敬 岡田仁志	2013.4.26
2	7海看護師への移乗・体交講習会	藤田将敬 河野信也	2013.6.25
3	褥瘡ポジショニング研修会	藤田将敬	2013.11.21
4	NST勉強会 トロミパワースマイル使用量目安表について	廣谷典子	2014.3.10
5	NSTサポートチーム勉強会	廣谷典子	2014.2.5
6	市民健康講座 「楽しく安全に食べるために」 ～嚥下の仕組みと嚥下障害への対応～	一柳律子	2014.1.18

研究業績：共同運営部門 相談支援室

(1) 原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	「キーワードと22の事例で学ぶソーシャルワーカーの仕事」	共著： 下村恭子	晃洋書房			2013

(2) 院内外講師活動 (2013.4～2014.3)

番号整理	演 題	発 表 者	年 月 日
1	りんくう緩和ケア研修会「地域医療福祉連携と心理社会的支援」	下村恭子	2013.6.30
2	がん性疼痛緩和ケアエキスパートコース:保健医療システム「がん患者の使用できる社会資源と制度、疼痛緩和を必要とする患者の在宅療養支援」	下村恭子	2014.1.21
3	看護学校1年生への講義母性看護学概論 6回	南 孝美	2014.1～3

研究業績：看護局

(1) 原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	FRONT ESSAY	川島孝太	呼吸器ケア			2013.6.1
2	トリアージのスキル強化	藤原由子	救急看護	10・11月号	pp.44-49	2013.10.1
3	わたしのとっておきGoods	吉田恵子	エマージェンシーケア	11月号		2013.10.8

(2) 学会研究会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1	グレードVくも膜下出血患者に対するチームアプローチ ―生命危機告知後の希望を支えるケア―	中村美穂	第108回近畿救急医学研究会	2013.7.13
2	一施設救急外来におけるかかりつけ患者の診療時間外での電話相談内容調査	藤原由子	第108回近畿救急医学研究会	2013.7.27
3	クリティカルケアに携わる看護師が認識したせん妄ケア、患者の反応と予防的ケア	瀬藤博子	第41回日本集中治療医学会学術集会・示説発表	2014.2.28
4	集中ケア認定看護師における離床に対する意識調査と取り組み	佐藤みえ 辻佐世里 小松由佳 有田 孝 川島孝太 半崎隼人 神山淳子 林 尚三 山本由美	第41回日本集中治療医学会学術集会・示説発表	2014.2.28
5	重症脳卒中集中管理を目指したSCUの有用性	小城千絵	日本脳卒中学会	2014.3.13-15
6	腹部外傷患者に見られる体温変化の現状と考察 VPC施行患者と閉腹患者に焦点を当てた比較調査報告	中西亜由美	第109回近畿救急医学研究会	2014.3.14

## (3) 学術講演

番号整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1	救急看護におけるケアの困難さと看護師の役割	濱野利江子	第108回近畿救急医学研究会(日本救急医学会近畿地方会)・交流集会	2013.7.27
2	心臓リハビリテーションにおける質向上のための認定看護師の活動	濱野利江子	第10回日本循環器看護学会・パネルディスカッション	2013.9.29

## 研究業績：各業務 院内感染対策室

## (1) 学会研究会報告

番号整理	演 題	発 表 者	共同研究者	学会・研究会名	年 月 日
1	カンジダ菌血症に併発した眼内炎の治療とポリコナゾール濃度についての検討	須合恵美	泉原里絵 宮本紅喜 宮本訓子 北島正大 山田 豊 玉置俊治 中川智代 1) 1) 秋津鴻池病院 感染症内科	第29回日本環境感染学会	2014.2.14
2	当院における感染性心内膜炎に対するゲンタマイシン使用と腎障害の検討	北島正大	泉原里絵 宮本紅喜 宮本訓子 山田 豊 須合恵美 大野博美 玉置俊治 中川智代 1) 1) 秋津鴻池病院 感染症内科	第29回日本環境感染学会	2014.2.15
3	感染性心内膜炎診療における非常勤感染症医の関わり	山田 豊	泉原里絵 宮本紅喜 宮本訓子 北島正大 須合恵美 大野博美 玉置俊治 中川智代 1) 1) 秋津鴻池病院 感染症内科	第29回日本環境感染学会	2014.2.15
4	メロペネム使用適正化に向けての投与状況の把握と検討	泉原里絵	宮本紅喜 宮本訓子 北島正大 山田 豊 須合恵美 大野博美 玉置俊治 中川智代 1) 1) 秋津鴻池病院 感染症内科	第29回日本環境感染学会	2014.2.15

## 研究業績：各業務 地域医療連携室

## (1) 学会研究会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1	泉州二次医療圏におけるがん地域連携バスのコーディネート～3病院の比較から見たバス運用の在り方～	市立岸和田市民病院 地域医療連携室 大家愛佐子 社会医療法人生長会 府中病院 医療情報課 松田有裕 りんくう総合医療センター 地域医療連携室 中西 賢	第14回日本クリニカルバス学会学術集会	2013.11.1-2
2	医師の事務作業負担を軽減する運用サポート ー地域医療連携室の観点からー	中西 賢 高田美幸	第52回全国自治体病院学会	2013.10.17-18
3	超急性期におけるMSWの相談支援の取り組みについての考察	元林 賢 北出 泉 倉 朋子 原 佐織 岸上恵子	第52回全国自治体病院学会	2013.10.17-18

**研究業績：各業務 診療情報管理系**

## (1) 学術講演

番号	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1	DPC導入に伴うICDコーディングの精度向上にむけての取り組み 第3報(留意コード減少にむけて)	末福美恵子	第39回日本診療情報管理学会学術大会 つくば国際会議場	2013.9.5-6

## (2) 院内研究活動

番号	演 題	発 表 者	年 月 日
1	日本診療情報管理学会第65回診療情報管理士生涯教育研修 「我が国の統計における死因及び傷病構造の把握 精度の向上を図るための具体的な方策についての研究 —取り組み報告と今後の課題について—	末福美恵子	2013.8.17